

トップリーグバレーボールチームにおける アナリストの実態調査



サマリー

一般社団法人日本スポーツアナリスト協会

調査・研究委員会

2025年12月

本調査は、日本のスポーツアナリティクスの発展に寄与するため、公益社団法人SVリーグ(旧一般社団法人日本バレーボールリーグ機構)と連携し、バレーボールアナリストの業務や取り巻く環境について実態を把握することを目的として実施した。

- 調査時期:2023年9月23日~2023年12月5日
- 調査対象:調査時点でVリーグ(V1、V2、V3の男女計57チーム)に所属するチームのGM:ゼネラルマネージャー相当の役職者(アナリストの採用実務担当者)、およびアナリスト。
- 調査主体:一般社団法人日本スポーツアナリスト協会(JSAA) 調査・研究委員会
(本調査担当メンバー:下関元、廣澤 聖士、藤原 稜、渡辺 啓太)
- 調査協力:公益社団法人SVリーグ(旧一般社団法人日本バレーボールリーグ機構)
- 調査方法:Google フォームによるオンラインアンケートをJVLより対象チームへ配布。
①GM向け、②アナリストグループ(集団)向け、③アナリスト個人向けの3種に分けて実施。
SVリーグへの移行対応が本格化する前の2022-2023シーズン時点での実態にて回答依頼。

SVL向け(SVリーグ)

旧V1男女 全22チーム 回答数(GM:22 アナリストグループ:21 アナリスト個人:24)

JVL向け(Vリーグ)

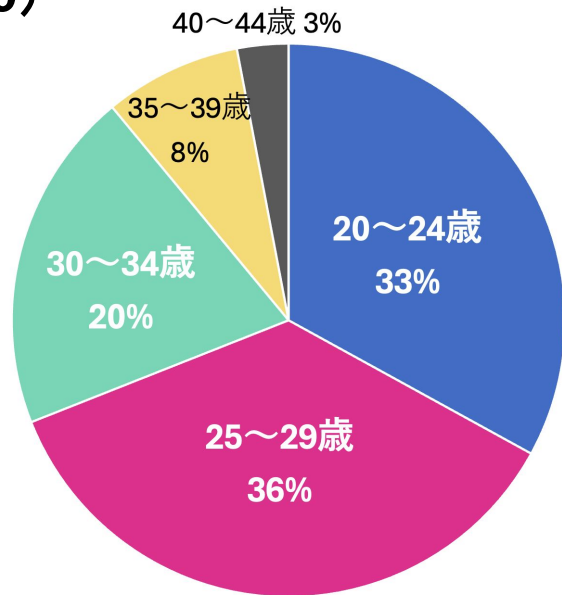
旧V2男女 全20チーム 回答数(GM:20 アナリストグループ:9 アナリスト個人:10)

旧V3男女 全15チーム 回答数(GM:14 アナリストグループ:5 アナリスト個人:4)

- ❖ アナリストグループは各チームにつき1つの代表回答、アナリスト個人は1チームに複数人のアナリストがいる場合は各アナリストからの個別回答を得るもの。
- ❖ 特別の記載がない限り、本報告書には22-23男女V1チームからの回答の集計結果を示す。
- ❖ 本報告書の一部では、ゼネラルマネージャーを”GM”、アナリストを”AN”と略称表記する。

属性面: サマリー (※V2V3を含む)

(n=39)



- 年齢: **20代が約7割** 20代前半と後半が約半数ずつ
- 性別: **男性77%、女性23%**
- 雇用形態: **1/3が無期限雇用の正社員**で残りは期限付きの契約社員や業務委託
- **アナリストの人数はチームに1~2名**(旧V1チーム)。各チーム大きく不足している認識は持っていない。
- チーム内での呼称は基本的に**”アナリスト”**でほぼ統一されている。
- 主に使用するソフトウェアのシェア
データバレー4: 48.6%
VolleyStation: 27.0%

- 試合中・シーズン前後の2つのタイミングにおいて、
8割以上のANが行っている**共通的业务**と、6割以上の**発展的业务**が見出された(後述)

GMとANでの業務面の認識の差

- **シーズン前強化方針策定・目標設定** **シーズン後のレビュー・レポート** については、ANは共通的业务だと思っているものの、GMとしてはANの業務ではないと捉えている割合が多く、認識の違いが見られた。

①共通的业务:「毎回行っている」...9割以上の回答が得られたもの

- 試合前の映像撮影、収集、データ入力、対戦相手分析
- 試合中の映像撮影、データ入力、リアルタイム分析
- 試合後の当該試合分析

②発展的业务:「毎回行っている」...6割程度の回答が得られたもの

- 試合前、試合後の分析プレゼンテーション (ミーティング)

ミーティングでのプレゼンをアナリストが担うかどうかはチームにより異なる

①**共通的业务**:「提案・介入・サポートする立場」...8割以上の回答が得られたもの

- 練習試合・紅白戦のデータ収集・分析
- **シーズン前強化方針策定・目標設定** シーズン後のレビュー、レポート

アナリストはシーズン単位での強化方針や目標設定に対してのサポートをしている

②**発展的业务**:「提案・介入・サポートする立場」...6割以上の回答が得られたもの

- 練習メニュー作成 動作分析 選手査定、編成

一部のアナリストはコーチング・フロント業務を担う場合もある

③関与しないことが多い業務 :「関与していない」...5割以上の回答

- フィジカルデータの収集・分析
- コンディショニングデータの収集・分析

フィジカル・コンディショニング領域への関与はより発展的な業務といえる

【共通的业务】

シーズン前強化方針策定・目標設定、シーズン後のレビュー、レポート

ANは上記業務を「アナリストの業務」と捉える割合が多い一方で
GMの回答では「アナリストの業務ではない」と捉える割合が多かった

→アナリスト目線では共通的业务といえるが、
GM目線では共通的业务とまではいえなく両者の認識に差がある

Q10. シーズンを通じて、下記の業務は、どの程度アナリストの業務として適当だと感じますか。

	(シーズン前) 当期強化方針策定	(シーズン前) 目標、KPI設定	(シーズン後) シーズンレビュー、シーズンレポートなどの作成	練習試合・紅白戦のデータ収集、分析	フィジカルデータの収集分析	コンディショニングデータの収集分析	練習メニュー作成	動作分析	球出しなどの練習サポート	練習中の審判
アナリストの業務だと思う	0(0%)	1(4.5%)	4(18.2%)	16(72.7%)	3(13.6%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
どちらかといえばアナリストの業務であると思う	4(18.2%)	4(18.2%)	9(40.9%)	4(18.2%)	0(0%)	1(4.5%)	2(9.1%)	5(22.7%)	3(13.6%)	0(0%)
どちらかといえばアナリストの業務ではないと思う	10(45.5%)	12(54.5%)	5(22.7%)	0(0%)	8(36.4%)	7(31.8%)	14(63.6%)	7(31.8%)	9(40.9%)	3(13.6%)
アナリストの業務ではないと思う	5(22.7%)	2(9.1%)	2(9.1%)	0(0%)	9(40.9%)	11(50%)	3(13.6%)	7(31.8%)	7(31.8%)	15(68.2%)
無回答	3(13.6%)	3(13.6%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	3(13.6%)	3(13.6%)	3(13.6%)	4(18.2%)

Q10. シーズンを通じて、下記の業務は、あなたのチームにおいて
どの程度アナリストの業務として適当だと感じますか。

	(シーズン前) 当期強化方針策定	(シーズン前) 目標、KPI設定	(シーズン後) シーズンレビュー、シーズンレポートなどの作成	練習試合・紅白戦のデータ収集、分析	フィジカルデータの収集分析	コンディショニングデータの収集分析	練習メニュー作成	動作分析	球出しなどの練習サポート	練習中の審判	選手査定・編成
アナリストの業務だと思う	5(23.8%)	6(28.6%)	13(61.9%)	15(71.4%)	0(0%)	0(0%)	2(9.5%)	3(14.3%)	1(4.8%)	0(0%)	2(9.5%)
どちらかといえばアナリストの業務であると思う	7(33.3%)	9(42.9%)	7(33.3%)	6(28.6%)	1(4.8%)	1(4.8%)	6(28.6%)	7(33.3%)	7(33.3%)	3(14.3%)	5(23.8%)
どちらかといえばアナリストの業務ではないと思う	7(33.3%)	4(19%)	0(0%)	0(0%)	9(42.9%)	9(42.9%)	10(47.6%)	9(42.9%)	9(42.9%)	8(38.1%)	9(42.9%)
アナリストの業務ではないと思う	1(4.8%)	1(4.8%)	1(4.8%)	0(0%)	11(52.4%)	11(52.4%)	2(9.5%)	1(4.8%)	2(9.5%)	9(42.9%)	4(19%)
無回答	1(4.8%)	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	1(4.8%)	2(9.5%)	1(4.8%)	1(4.8%)

- GMとANの両方で「とても重要」が80%以上であった**中核的スキル**と70%以上であった**比較的重要なスキル**が見出された(後述)。

GMとANでのスキル面の認識の差

- GM:ANよりもDV以上の高度な映像編集知識・スキル を重視
AN:GMよりもバイオメカニクス(動作分析)の知識・スキル を重視

①中核的スキル(最重要) : GMとANで「とても重要」が80%以上
データバレー、戦略戦術知識、統計解析知識

②比較的重要なスキル : GMとANで「とても重要」が70%以上
コミュニケーション能力、パフォーマンス評価(アタック効果率など)に関する知識、IT全
般知識

GMの方が高いもの

- 競技知識
- 育成セミナー評価
- DV以上の高度な映像編集知識・スキル

GMはANの認識以上にDV以上の高度な映像編集スキルを重視する傾向がある

ANのほうが高いもの

- プレゼンスkill
- バイオメカニクス知識・スキル

ANはGMの認識以上に動作分析の知識・スキルを重視する傾向がある

Q14. アナリストの採用の局面において、下記の知識、スキルはどの程度重要だと感じますか。

	映像を撮影するスキル	競技知識（ルール・歴史・用語）	戦略戦術に関する知識	統計解析に関する知識	バイオメカニクス（動作分析）の知識	IT機器（ハードウェア）、ソフトウェア全般に関する知識	ゲームパフォーマンス評価に関する知識（効果量、決定率など）	データベースなどのソフトウェアのスキル	データベースより高度な映像編集スキル	データベースより高度な統計解析スキル	バイオメカニクス（動作分析）のスキル	プレゼンテーション資料作成スキル	プレゼンテーションを行うスキル	コミュニケーションスキル	アナリスト育成セミナーでの評価
とても重要	10(45.5%)	17(77.3%)	18(81.8%)	19(86.4%)	4(18.2%)	16(72.7%)	16(72.7%)	20(90.9%)	13(59.1%)	13(59.1%)	5(22.7%)	13(59.1%)	12(54.5%)	17(77.3%)	8(36.4%)
やや重要	7(31.8%)	2(9.1%)	2(9.1%)	1(4.5%)	10(45.5%)	4(18.2%)	3(13.6%)	0(0%)	5(22.7%)	6(27.3%)	8(36.4%)	6(27.3%)	6(27.3%)	3(13.6%)	11(50%)
あまり重要でない	2(9.1%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	6(27.3%)	0(0%)	1(4.5%)	0(0%)	2(9.1%)	1(4.5%)	6(27.3%)	1(4.5%)	2(9.1%)	0(0%)	1(4.5%)
まったく重要でない	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
現場に判断を任せている	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
無回答	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)

Q13. アナリストチーム全体として、下記の知識・スキルを所有していることは
チームにとってどの程度重要だと感じますか。

	映像を撮影するスキル	競技知識 (ルール・歴史・用語)	戦略戦術に関する知識	統計解析に関する知識	バイオメカニクス(動作分析)の知識	IT機器(ハードウェア)、ソフトウェア全般に関する知識	ゲームパフォーマンス評価に関する知識(効果量、決定率など)	データバレーなどのソフトウェアのスキル	データバレーより高度な映像編集スキル	データバレーより高度な統計解析スキル	バイオメカニクス(動作分析)のスキル	プレゼンテーション資料作成スキル	プレゼンテーションを行うスキル	コミュニケーションスキル	アナリスト育成セミナーでの評価
とても重要である	14(66.7%)	12(57.1%)	19(90.5%)	17(81%)	6(28.6%)	15(71.4%)	18(85.7%)	17(81%)	8(38.1%)	11(52.4%)	6(28.6%)	16(76.2%)	15(71.4%)	17(81%)	4(19%)
やや重要である	6(28.6%)	8(38.1%)	2(9.5%)	4(19%)	10(47.6%)	5(23.8%)	3(14.3%)	4(19%)	8(38.1%)	9(42.9%)	7(33.3%)	5(23.8%)	6(28.6%)	4(19%)	6(28.6%)
あまり重要でない	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	4(19%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	3(14.3%)	0(0%)	6(28.6%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	5(23.8%)
まったく重要でない	0(0%)	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	5(23.8%)
無回答	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	1(4.8%)	2(9.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)

【アナリストの評価】

- GMは7割以上が「チームへの貢献度」・「分析スタッフとしてのスキルの発揮度」・「協調性」・「取り組み姿勢」をととても重視していると回答

アナリストの評価軸について、GMとANとの認識の差が最も大きい項目は「スキルの発揮度」の重要性であり、ANの3割弱が重視されていないと感じている傾向がある。

【入団時の職務記述書】

GM:用意していないチームが過半数であった(19件中11件)

AN:用意されていたが実態と異なっていたとの回答が約半数 あった(28件中12件)

【募集】

GMは紹介づて採用をしているため、候補者を探すことには困っていない
一方でANはどのチームが募集しているかを知ることができないという課題を抱えている

【採用基準】

GMは採用時点の候補者のスキルをどう評価したら良いかわからないという課題あり

Q26. アナリストの評価について、次の内容はどの程度重視しますか。

	チームの戦績	チームへの貢献度	分析スタッフとしてのスキルの発揮度	チームワーク(他のスタッフとの協調性)	取り組み姿勢
とても重視する	4(18.2%)	14(63.6%)	14(63.6%)	14(63.6%)	16(72.7%)
どちらかといえば重視する	13(59.1%)	6(27.3%)	6(27.3%)	6(27.3%)	4(18.2%)
どちらかといえば重視しない	2(9.1%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
まったく重視しない	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
無回答	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)
計	22(100%)	22(100%)	22(100%)	22(100%)	22(100%)

Q19. アナリストの評価について、次の内容はどの程度重視されていると感じますか。

	チームの戦績	チームへの貢献度	分析スタッフとしてのスキルの発揮度	チームワーク(他のスタッフとの協調性)	取り組み姿勢
とても重視されている	6(28.6%)	6(28.6%)	8(38.1%)	7(33.3%)	10(47.6%)
どちらかといえば重視されている	10(47.6%)	9(42.9%)	5(23.8%)	8(38.1%)	8(38.1%)
どちらかといえば重視されていない	2(9.5%)	2(9.5%)	4(19%)	2(9.5%)	1(4.8%)
まったく重視されていない	1(4.8%)	1(4.8%)	1(4.8%)	1(4.8%)	0(0%)
無回答	2(9.5%)	3(14.3%)	3(14.3%)	3(14.3%)	2(9.5%)

【育成・成長機会】

国際試合視察や代表派遣などを通してGMは成長機会を提供している認識
チームから与えられている成長機会が十分という ANの回答はごく少数
ANからは他競技アナリストや海外チームとの交流を求める意見が多数あった。

【移籍】アナリストの移籍意欲と、チーム側としての懸念

ANからは移籍に対して意欲的な回答がみられる
GMはアナリストの移籍に抵抗があるという回答が半数を占める

トップリーグバレーボールチームにおける アナリストの実態調査



資料集

一般社団法人日本スポーツアナリスト協会

調査・研究委員会

2025年12月

本調査は、日本のスポーツアナリティクスの発展に寄与するため、公益社団法人SVリーグ(旧一般社団法人日本バレーボールリーグ機構)と連携し、バレーボールアナリストの業務や取り巻く環境について実態を把握することを目的として実施した。

- 調査時期:2023年9月23日~2023年12月5日
- 調査対象:調査時点でVリーグ(V1、V2、V3の男女計57チーム)に所属するチームのGM:ゼネラルマネージャー相当の役職者(アナリストの採用実務担当者)、およびアナリスト。
- 調査主体:一般社団法人日本スポーツアナリスト協会(JSAA) 調査・研究委員会
(本調査担当メンバー:下関元、廣澤 聖士、藤原 稜、渡辺 啓太)
- 調査協力:公益社団法人SVリーグ(旧一般社団法人日本バレーボールリーグ機構)
- 調査方法:Google フォームによるオンラインアンケートをJVLより対象チームへ配布。
①GM向け、②アナリストグループ(集団)向け、③アナリスト個人向けの3種に分けて実施。
SVリーグへの移行対応が本格化する前の2022-2023シーズン時点での実態にて回答依頼。

SVL向け(SVリーグ)

旧V1男女 全22チーム 回答数(GM:22 アナリストグループ:21 アナリスト個人:24)

JVL向け(Vリーグ)

旧V2男女 全20チーム 回答数(GM:20 アナリストグループ:9 アナリスト個人:10)

旧V3男女 全15チーム 回答数(GM:14 アナリストグループ:5 アナリスト個人:4)

- ❖ アナリストグループは各チームにつき1つの代表回答、アナリスト個人は1チームに複数人のアナリストがいる場合は各アナリストからの個別回答を得るもの。
- ❖ 特別の記載がない限り、本報告書には22-23男女V1チームからの回答の集計結果を示す。
- ❖ 本報告書の一部では、ゼネラルマネージャーを”GM”、アナリストを”AN”と略称表記する。

トップリーグバレーボールチームにおける アナリストの実態調査



単純集計結果

一般社団法人日本スポーツアナリスト協会
調査・研究委員会
2025年12月

Q1. あなたのチームには、常勤アナリストがいますか。

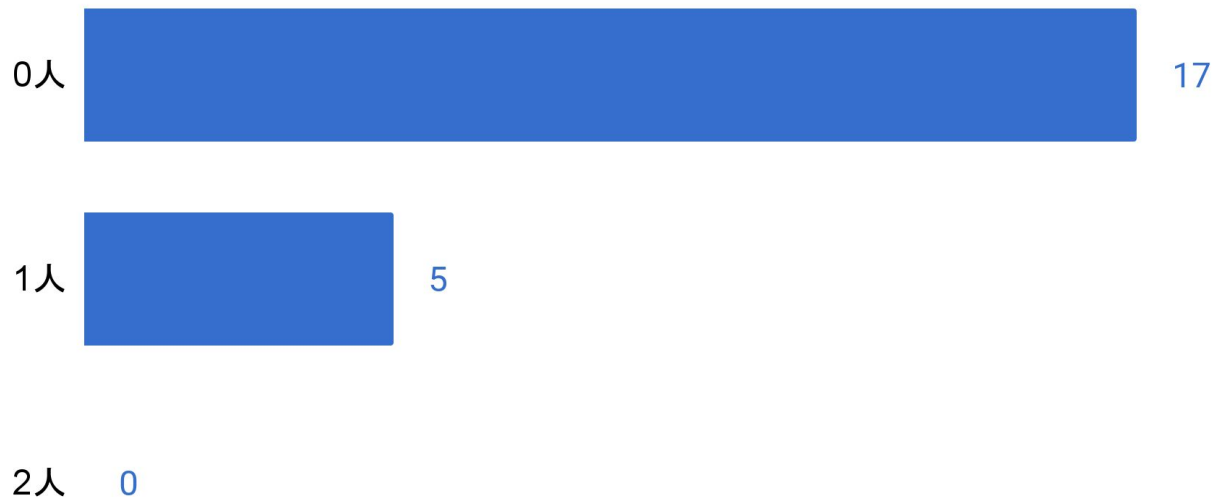
(n=22)



常勤アナリストは 1名配置しているチームが 77.2%で最も多い

Q2. あなたのチームには、非常勤アナリストがいますか。

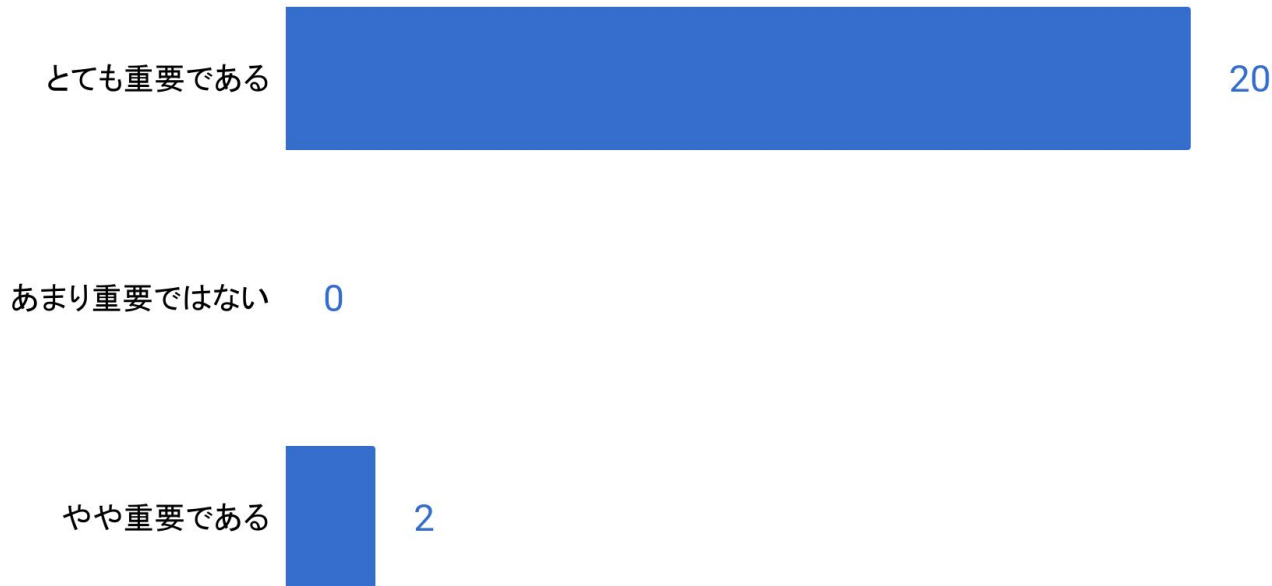
(n=22)



非常勤アナリストを雇用しているチームはあまり多くない

Q3. アナリストはあなたのチームにとってどの程度重要だと感じますか。

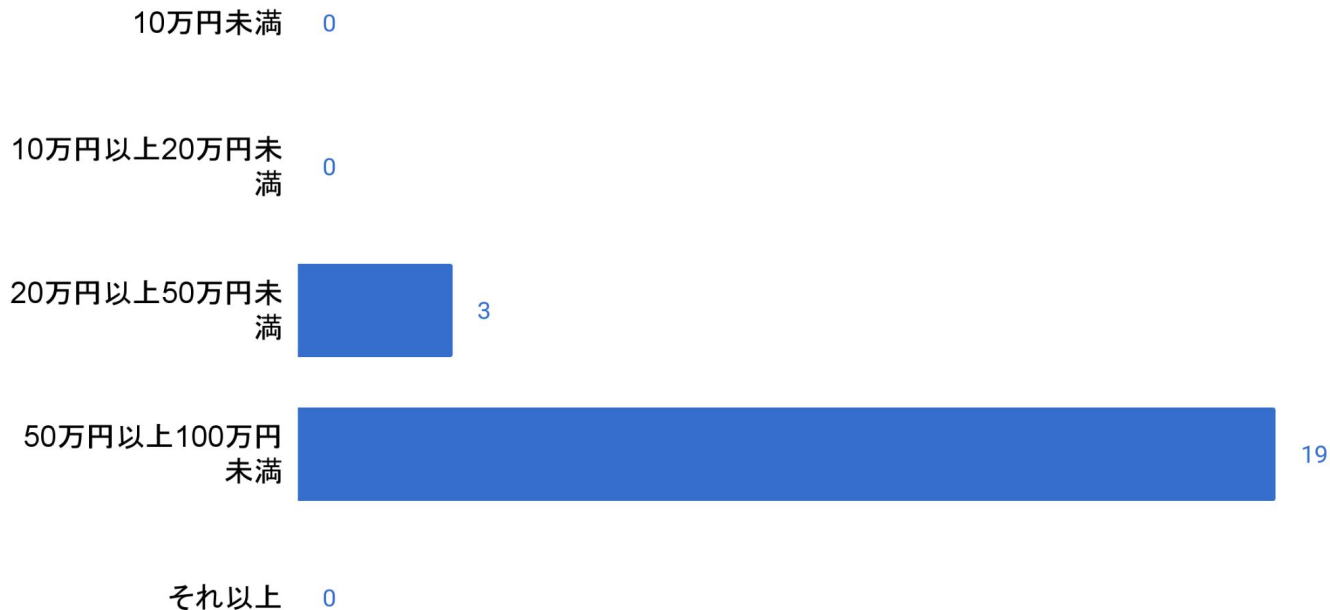
(n=22)



GMの認識において、全てのチームがアナリストが重要であると捉えている

Q4. アナリストの分析業務において、定常的にかかる費用に関する 22-23シーズン(昨シーズン)の予算はおよそいくらでしたか。

(n=22)



多くのチームは 50万円~100万円未満。(V2,V3にそれ以上の支出をしているチームは存在している。)

Q5. あなたのチームのアナリスト相当のスタッフの肩書を教えてください。

(n=22)



ほとんどのチームにおいて、「アナリスト」という名称が用いられている。

Q6. 公式戦を対象とした分析のうち、アナリストは下記の業務をどの程度行っていますか。

(n=22)

	(事前)試合映像撮影、試合映像収集	(事前)データ入力、コード化	(事前)対戦相手分析(スカウティング)	(事前)分析のプレゼンテーション	(当該試合)映像撮影	(当該試合)データ入力、コード化	(当該試合)リアルタイム分析*試合中の分析	(事後)データ入力・修正	(事後)当該試合の分析	(事後)分析のプレゼンテーション
毎回行なっている	21(95.5%)	20(90.9%)	21(95.5%)	16(72.7%)	22(100%)	21(95.5%)	21(95.5%)	21(95.5%)	21(95.5%)	15(68.2%)
よく行なっている	1(4.5%)	1(4.5%)	0(0%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.5%)
あまり行なっていない	0(0%)	0(0%)	0(0%)	3(13.6%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	3(13.6%)
全く行なっていない	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
現場に判断を任せている	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	2(9.1%)
無回答	0(0%)	1(4.5%)	1(4.5%)	1(4.5%)	0(0%)	1(4.5%)	1(4.5%)	1(4.5%)	1(4.5%)	1(4.5%)

多くのGMがアナリストの公式戦に関する業務については把握している。
また記載業務のうち、プレゼンテーションを除く領域はアナリストの標準的な業務として認識されている。

Q7. 公式戦を対象とした分析のうち、下記の業務は、貴チームにおいてどの程度アナリストの業務として適当だと感じますか。

(n=22)

	(事前)試合 映像撮影、試 合映像収集	(事前)デー タ入力、コード化	(事前)対戦 相手分析(ス カウティング)	(事前)分析 のプレゼン テーション	(当該試合) 映像撮影	(当該試合) データ入力、 コード化	(当該試合) リアルタイム 分析 * 試合 中の分析	(事後)デー タ入力・修正	(事後)当該 試合の分析	(事後)分 析のプレ ゼンテー ション
アナリストの業務だ と思う	18(81.8%)	20(90.9%)	20(90.9%)	15(68.2%)	16(72.7%)	21(95.5%)	20(90.9%)	22(100%)	19(86.4%)	15(68.2%)
どちらかといえばア ナリストの業務であ ると思う	3(13.6%)	1(4.5%)	1(4.5%)	2(9.1%)	4(18.2%)	1(4.5%)	2(9.1%)	0(0%)	3(13.6%)	3(13.6%)
どちらかといえばア ナリストの業務では ないと思う	0(0%)	0(0%)	0(0%)	4(18.2%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	4(18.2%)
アナリストの業務で はないと思う	1(4.5%)	1(4.5%)	1(4.5%)	1(4.5%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
無回答	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)

GMが分析のプレゼンテーションはアナリストの業務ではないと認識しているケースも存在する

Q8. 公式戦の分析において、Q6,Q7の内容以外に、貴チームのアナリストが行っている業務内容があれば記入してください。

- 「他チーム(他会場)とのデータ共有調整」
- 「シーズン通しての集計報告」
- 「相手選手含め個人別のデーターなど」
- 「選手へのデータ分析に基づくコーチング」
- 「コーチ、選手サポート」
- 「戦術検討・判断」

個別試合のチームパフォーマンスの分析にとどまらず、個人のデータやシーズン通してのデータの分析や、コーチ、選手のサポート、戦術への関与を行うアナリストも存在する。

Q9. シーズンを通じて、貴チームのアナリストは下記の業務について どのような立場にありますか。

(n=22)

	(シーズン前) 当期強化方針 策定	(シーズン前) 目標、KPI設 定	(シーズン後) シーズンレ ビュー、シー ズンレポート などの作成	練習試合・紅 白戦のデータ 収集、分析	フィジカル データの収集 分析	コンディショ ニングデータ の収集分析	練習メニュー 作成	動作分析	球出しなどの 練習サポート	練習中の審 判
意思決定をする立場 である	0(0%)	0(0%)	1(4.5%)	4(18.2%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
提案(介入)をする立 場である	7(31.8%)	8(36.4%)	7(31.8%)	11(50%)	4(18.2%)	2(9.1%)	3(13.6%)	4(18.2%)	3(13.6%)	2(9.1%)
サポートを行う立場 である	9(40.9%)	7(31.8%)	9(40.9%)	3(13.6%)	6(27.3%)	5(22.7%)	8(36.4%)	7(31.8%)	13(59.1%)	1(4.5%)
関与していない	3(13.6%)	3(13.6%)	1(4.5%)	1(4.5%)	8(36.4%)	11(50%)	7(31.8%)	7(31.8%)	2(9.1%)	15(68.2%)
現場に判断を任せて いる	3(13.6%)	4(18.2%)	4(18.2%)	3(13.6%)	4(18.2%)	4(18.2%)	4(18.2%)	4(18.2%)	4(18.2%)	3(13.6%)
いずれにもあてはま らない	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.5%)

公式戦以外のシーズンを通じたアナリストの活動になると、判断を現場に任せるような GMが存在する。
一方でアナリストが提案・介入する業務領域はチーム活動の多岐にわたっているという認識を持っている。

Q10. シーズンを通じて、下記の業務は、どの程度アナリストの業務として 適当だと感じますか。

(n=22)

	(シーズン前) 当期強化方 針策定	(シーズン 前)目標、 KPI設定	(シーズン 後)シーズン レビュー、 シーズンレ ポートなどの 作成	練習試合・ 紅白戦の データ収集、 分析	フィジカル データの収 集分析	コンディショ ニング データの収 集分析	練習メニュー 作成	動作分析	球出しなど の練習サ ポート	練習中の審 判
アナリストの業務だ と思う	0(0%)	1(4.5%)	4(18.2%)	16(72.7%)	3(13.6%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
どちらかといえばア ナリストの業務であ ると思う	4(18.2%)	4(18.2%)	9(40.9%)	4(18.2%)	0(0%)	1(4.5%)	2(9.1%)	5(22.7%)	3(13.6%)	0(0%)
どちらかといえばア ナリストの業務では ないと思う	10(45.5%)	12(54.5%)	5(22.7%)	0(0%)	8(36.4%)	7(31.8%)	14(63.6%)	7(31.8%)	9(40.9%)	3(13.6%)
アナリストの業務で はないと思う	5(22.7%)	2(9.1%)	2(9.1%)	0(0%)	9(40.9%)	11(50%)	3(13.6%)	7(31.8%)	7(31.8%)	15(68.2%)
無回答	3(13.6%)	3(13.6%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	3(13.6%)	3(13.6%)	3(13.6%)	4(18.2%)

フィジカルやコンディショニング領域の収集分析、球出しや審判等の練習サポートはアナリストの業務ではないと感じているGMが多い。

Q11. シーズンを通して、Q9,Q10の内容以外に、アナリストが行っている業務内容があれば記入してください。

- 「国内外の選手のデータ分析など」
- 「選手サポート」
- 「コーチ業(選手への技術指導)」

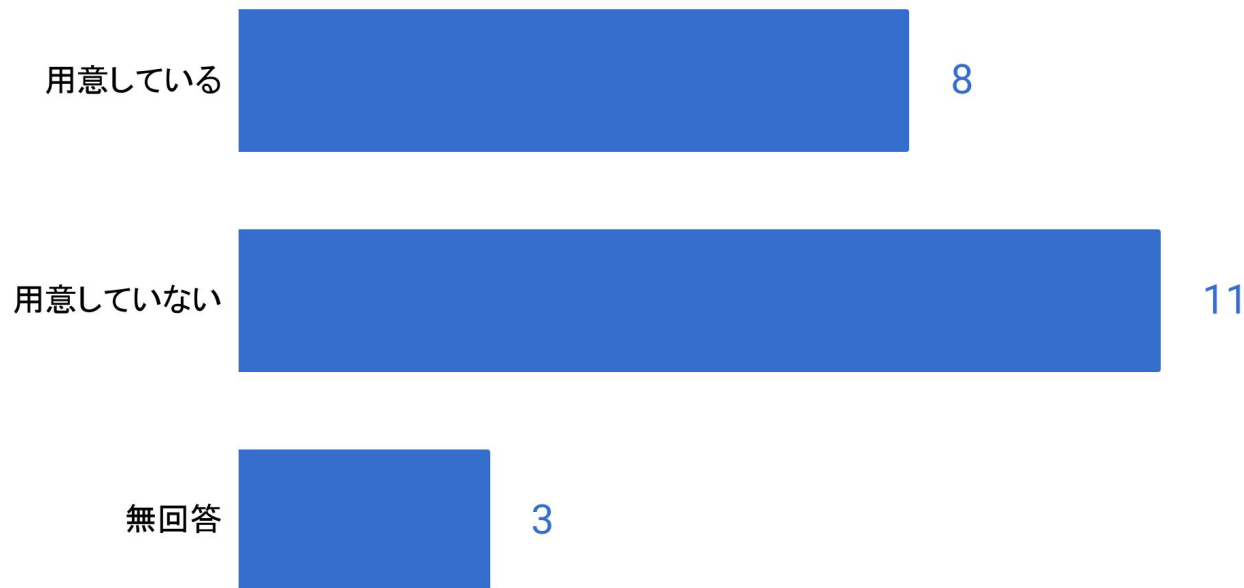
国内のみならず、海外の選手のデータ分析などを担っている場合もある。

Q12. Q11の内容以外に、アナリストに行なってもらいたいと考えていることがあれば記入してください。

- 「複数のアナリストがいる場合、動作分析と日々の練習の各数値化」

Q13. 現在のチームのアナリストに対して、職務記述書など業務内容を明示した書面を用意していますか。

(n=22)



職務記述書などの業務内容の明示を用意していないと回答している GMの方が多い。

Q14. アナリストの採用の局面において、下記の知識、スキルはどの程度重要だと感じますか。

(n=22)

	映像を撮影するスキル	競技知識 (ルール・歴史・用語)	戦略戦術に関する知識	統計解析に関する知識	バイオメカニクス(動作分析)の知識	IT機器(ハードウェア)、ソフトウェア全般に関する知識	ゲームパフォーマンス評価に関する知識(効果量、決定率など)	データベースなどのソフトウェアのスキル	データベースより高度な映像編集スキル	データベースより高度な統計解析スキル	バイオメカニクス(動作分析)のスキル	プレゼンテーション資料作成スキル	プレゼンテーションを行うスキル	コミュニケーションスキル	アナリスト育成セミナーでの評価
とても重要	10(45.5%)	17(77.3%)	18(81.8%)	19(86.4%)	4(18.2%)	16(72.7%)	16(72.7%)	20(90.9%)	13(59.1%)	13(59.1%)	5(22.7%)	13(59.1%)	12(54.5%)	17(77.3%)	8(36.4%)
やや重要	7(31.8%)	2(9.1%)	2(9.1%)	1(4.5%)	10(45.5%)	4(18.2%)	3(13.6%)	0(0%)	5(22.7%)	6(27.3%)	8(36.4%)	6(27.3%)	6(27.3%)	3(13.6%)	11(50%)
あまり重要でない	2(9.1%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	6(27.3%)	0(0%)	1(4.5%)	0(0%)	2(9.1%)	1(4.5%)	6(27.3%)	1(4.5%)	2(9.1%)	0(0%)	1(4.5%)
まったく重要でない	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
現場に判断を任せている	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
無回答	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)

戦略戦術に関する知識や、映像編集スキル、高度な統計解析スキル、プレゼンテーションスキルなども重要視されている。

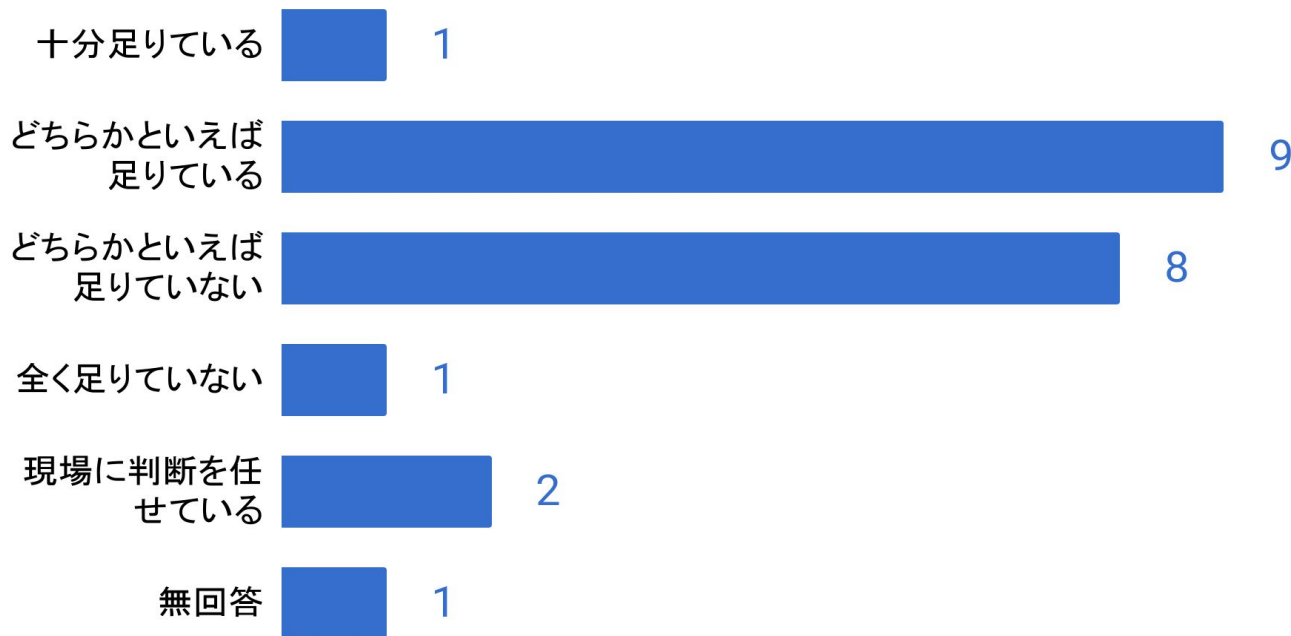
Q15. Q14の内容以外に、アナリストの知識、スキルとして重要と感知することがあれば記入してください。

- 「データに基づく客観的な指摘など」
- 「コーチングスキル」
- 「一番はコミュニケーション能力、選手へ伝えられる能力」

アナリストにコーチングのスキルや客観的な指摘などを求める GMの声がある。

Q16. 所属チーム内でのアナリストの業務量と比較して、アナリストの人数は足りていると思いますか。

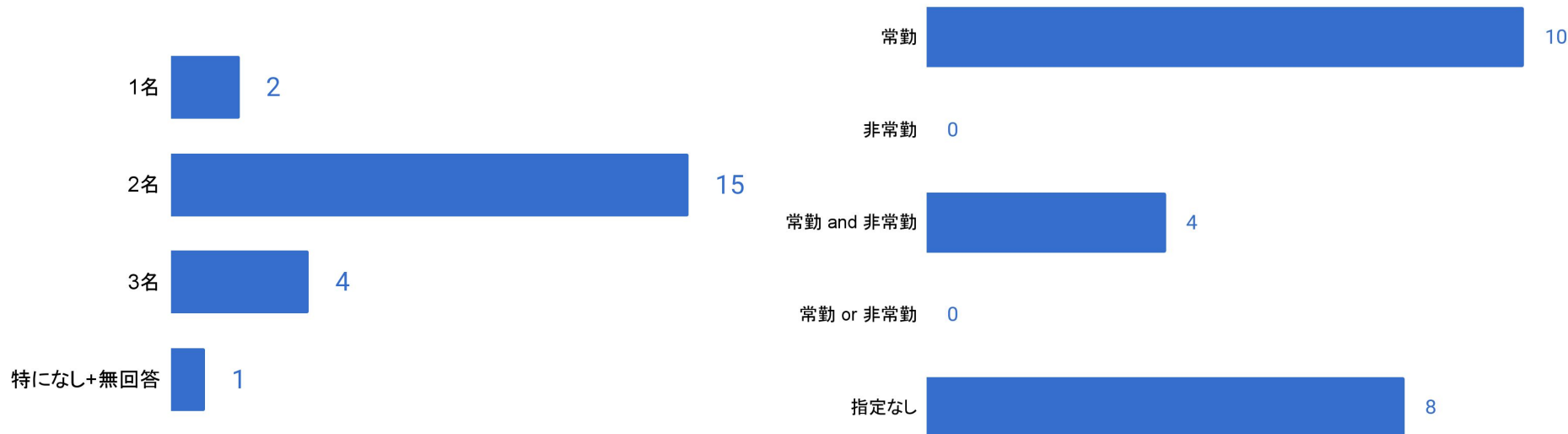
(n=22)



アナリストの人数が 十分足りている / 全く足りていない、という回答は少ない。

Q17. 今のチームにおいて理想とするアナリストの人数、構成を教えてください。

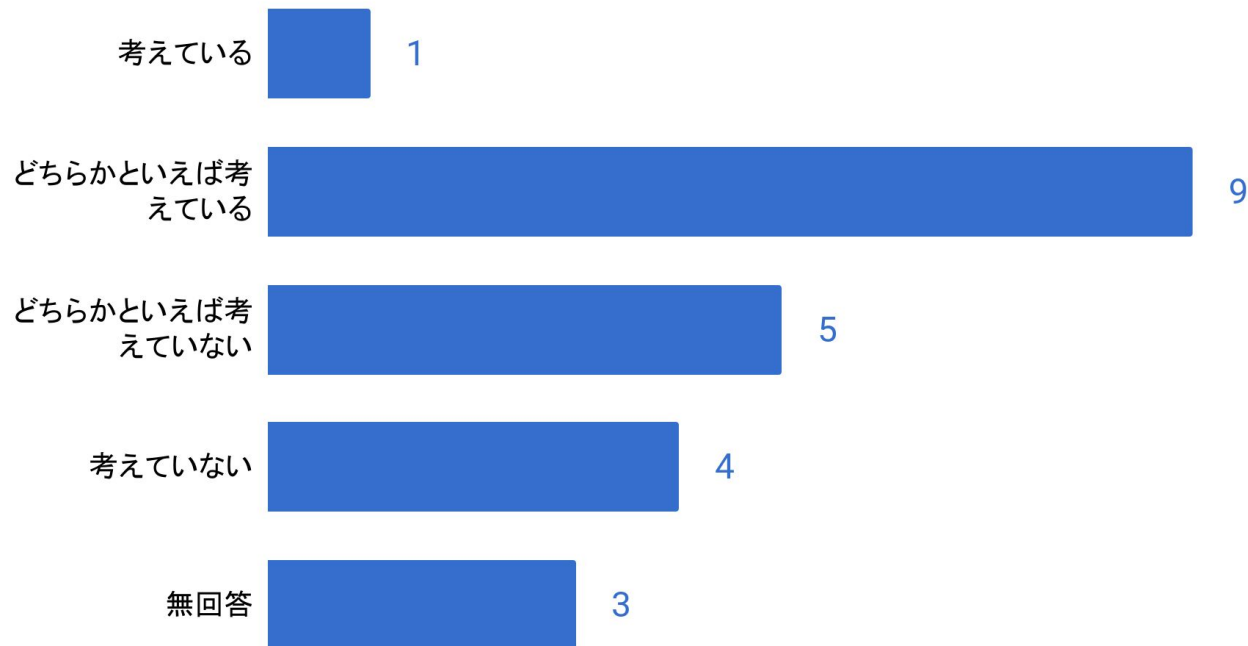
(n=22)



全体の86.3%のGMが、2名以上のアナリスト複数名体制を理想としている。

Q18. チャンスがあれば他チームのアナリストを移籍で獲得したいと考えていますか。

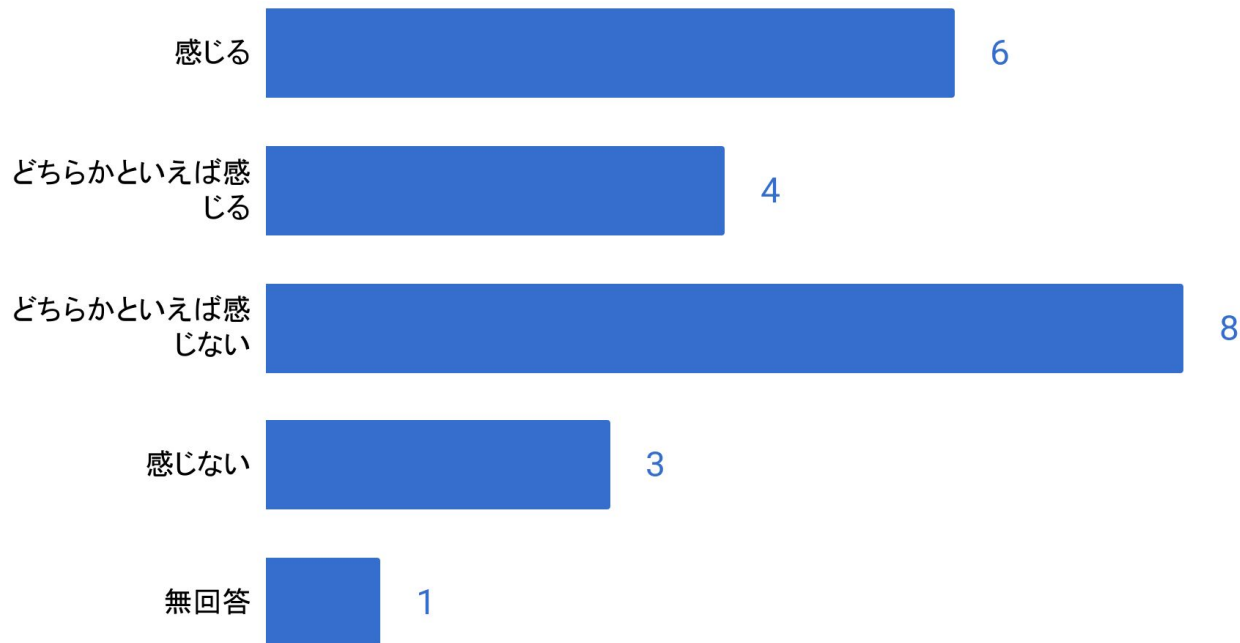
(n=22)



アナリストを他チームから獲得することについては、各チーム GMの考え方に差がある状況。

Q19. 自チームのアナリストが他のチームに移籍することに対して抵抗を感じますか。

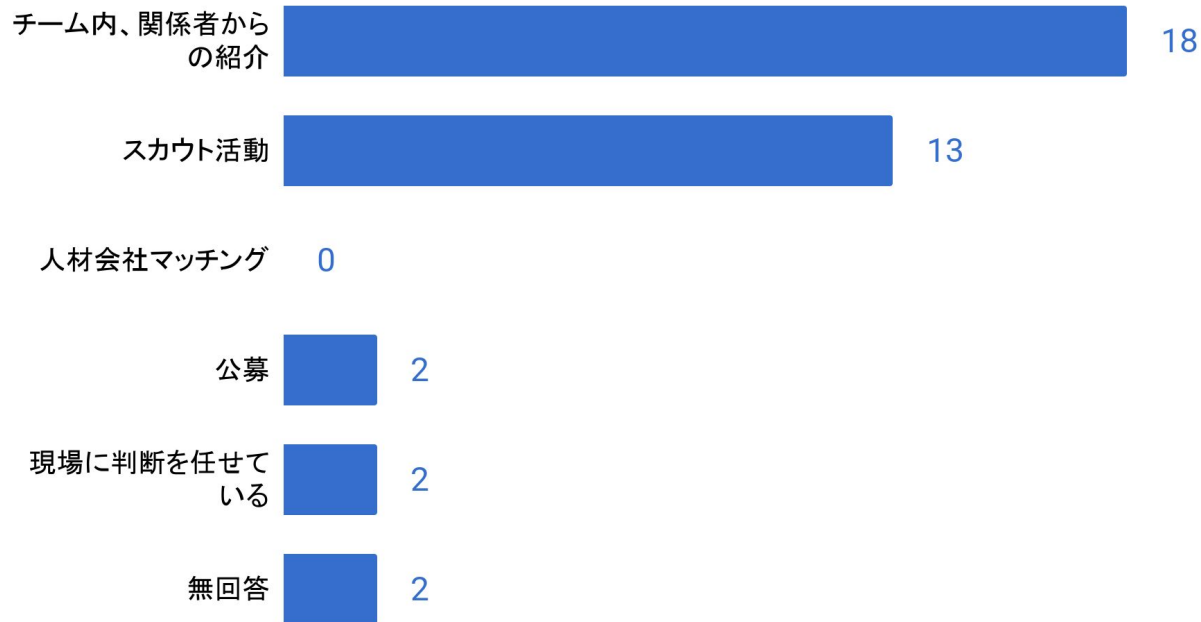
(n=22)



自チームのアナリストの移籍についても考え方が分かれている。

Q20. アナリスト候補者をどのように探していますか。

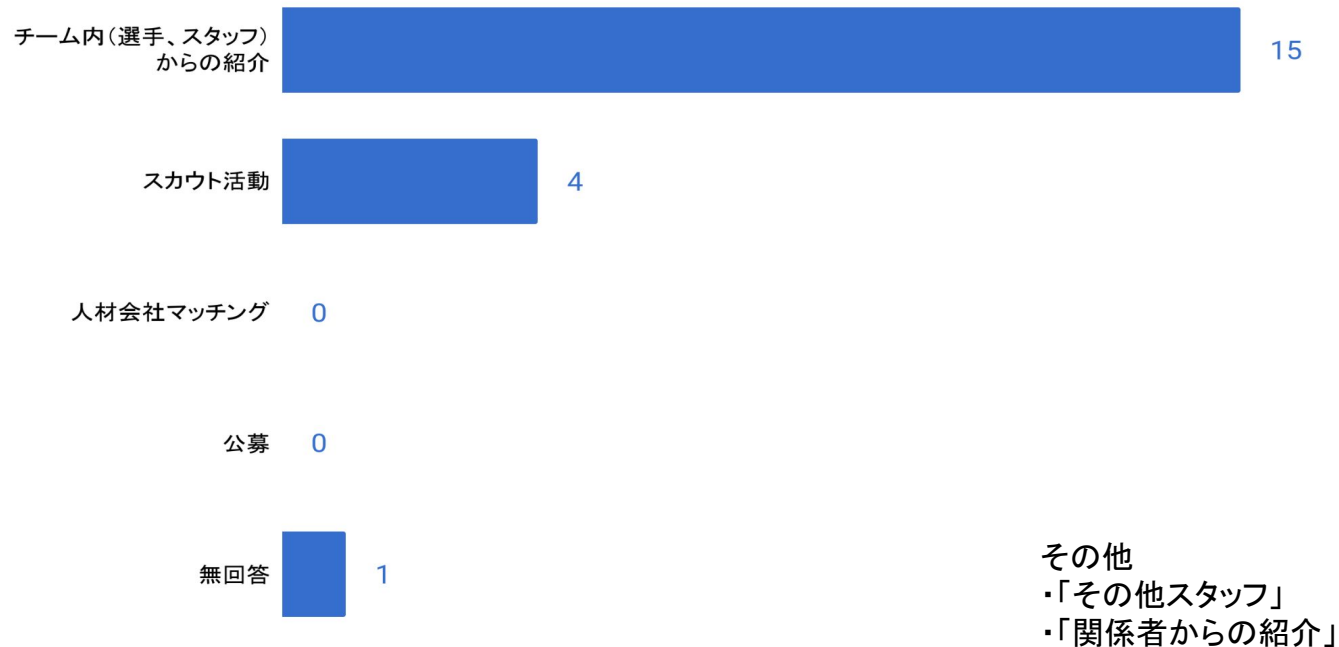
(n=22; 複数回答可)



公募でのアナリスト選考はあまり取り入れられておらず、人づての紹介やスカウト活動により探している。

Q21. 今のアナリストはどのように採用しましたか。

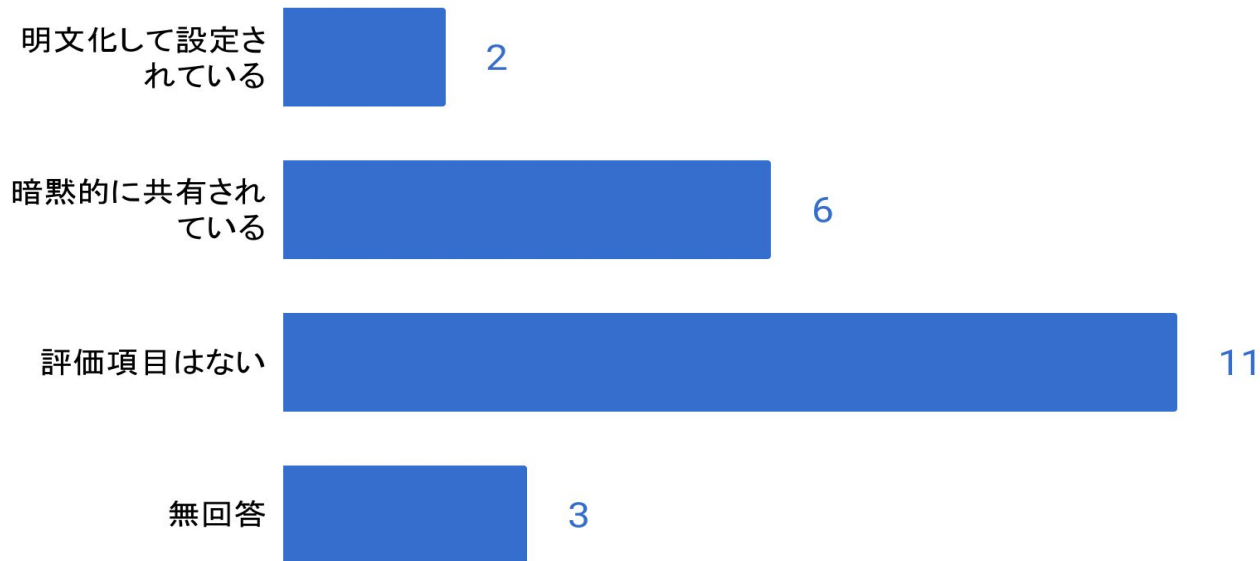
(n=22)



公募ではアナリスト採用に至っておらず、人づての紹介やスカウト活動により採用している。

Q23. あなたのチームにおいて、アナリストに対する評価項目は設定されていますか。

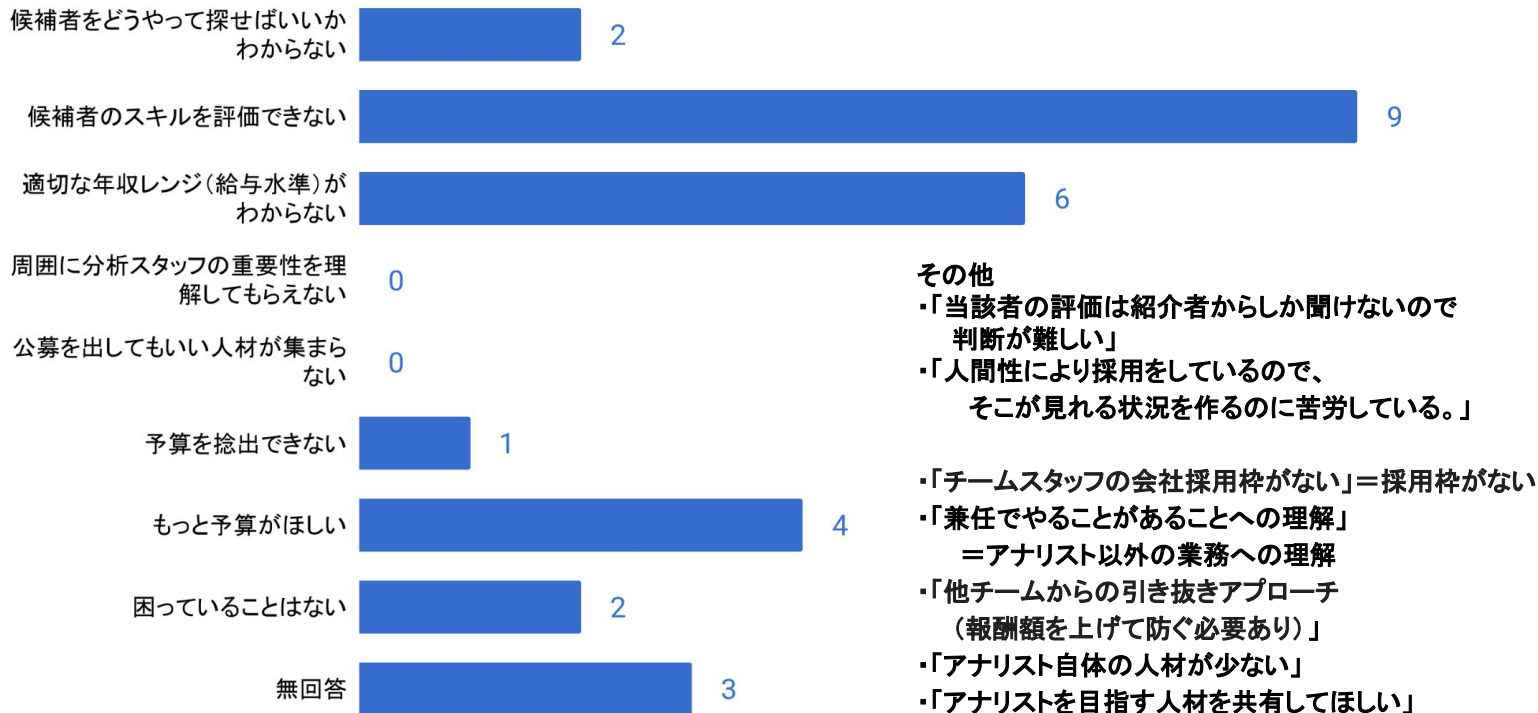
(n=22)



評価項目を明文化して設定しているチームは少ない。

Q22. アナリストの採用において困っていることはありますか。

(n=22; 複数回答可)



GMはアナリストの採用候補者のスキルを評価できない、という点に最も困っている。

Q24. 具体的にどのような評価項目があるか教えてください。

- 勝利試合数

Q25. 評価項目における評価基準は設定されていますか。

- 「暗黙的に共有されている」
- 「評価基準はない」

評価項目を明文化して設定しているチームでも、評価基準は明確に示されていない。

Q26. アナリストの評価について、次の内容はどの程度重視しますか。

(n=22)

	チームの戦績	チームへの貢献度	分析スタッフとしてのスキルの発揮度	チームワーク(他のスタッフとの協調性)	取り組み姿勢
とても重視する	4(18.2%)	14(63.6%)	14(63.6%)	14(63.6%)	16(72.7%)
どちらかといえば重視する	13(59.1%)	6(27.3%)	6(27.3%)	6(27.3%)	4(18.2%)
どちらかといえば重視しない	2(9.1%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
まったく重視しない	1(4.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
無回答	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)	2(9.1%)
計	22(100%)	22(100%)	22(100%)	22(100%)	22(100%)

GMからのアナリストの評価としては、結果だけでなく取り組み姿勢や協調性により強く目を向けられている傾向。

Q27. アナリストの人材育成・環境整備に関するチームならではの 特徴的な取り組みがあれば教えてください。

- 「コーチ資格を取得させている。技術指導ができることも重要視している。」
- 「指導者講習会の参加、資格取得(コーチ3.4)」
- 「他チームの**試合分析に派遣**している。全日本に派遣など」「外部派遣 全日本の活動」
「**国際大会**にアナリストとして**派遣**」＝代表派遣
- 「チームスケジュールとの兼ね合いになるが、**代表戦等**に行ける際は**視察**に行かせている」＝試合視察
- 「講習会への参加」
- 「リーグ全体における、アナリストの業務軽減ができるように動きたいですね。」
- 「トップチームの責任者(監督)へ任せている」

アナリストに提供している機会としては、コーチ資格取得、国際大会視察や日本代表への派遣が見られる。

アナリストグループ向け

トップリーグバレーボールチームにおける アナリストの実態調査



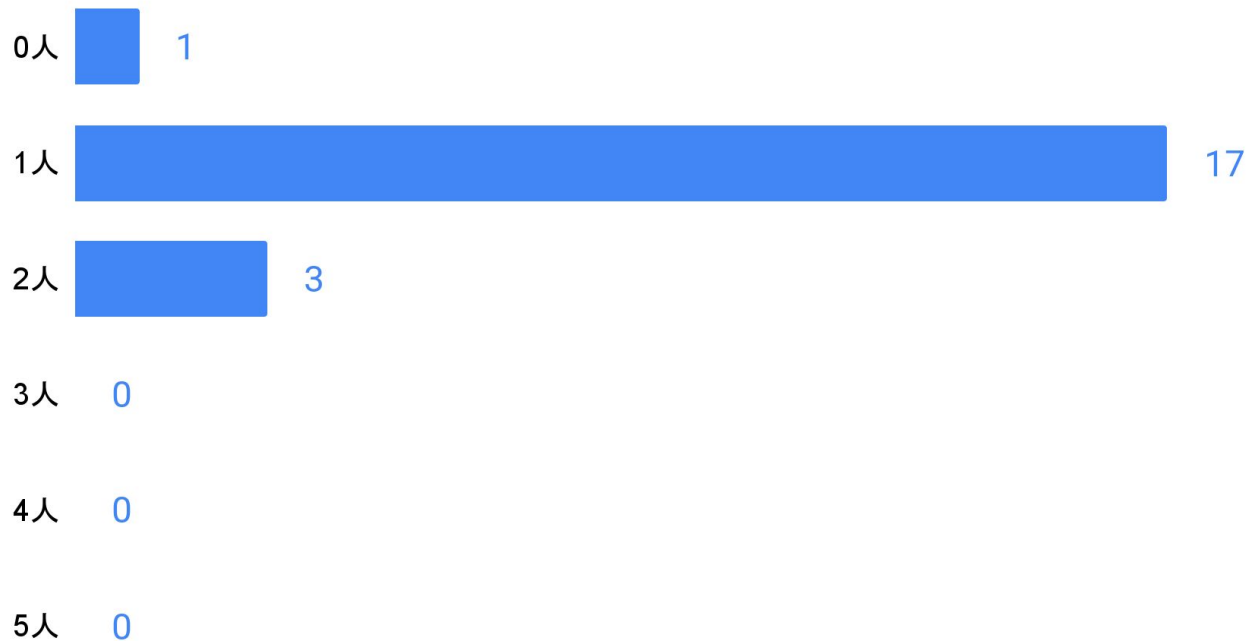
単純集計結果

一般社団法人日本スポーツアナリスト協会
調査・研究委員会

2025年12月

Q1. あなたのチームには、常勤アナリストがいますか。

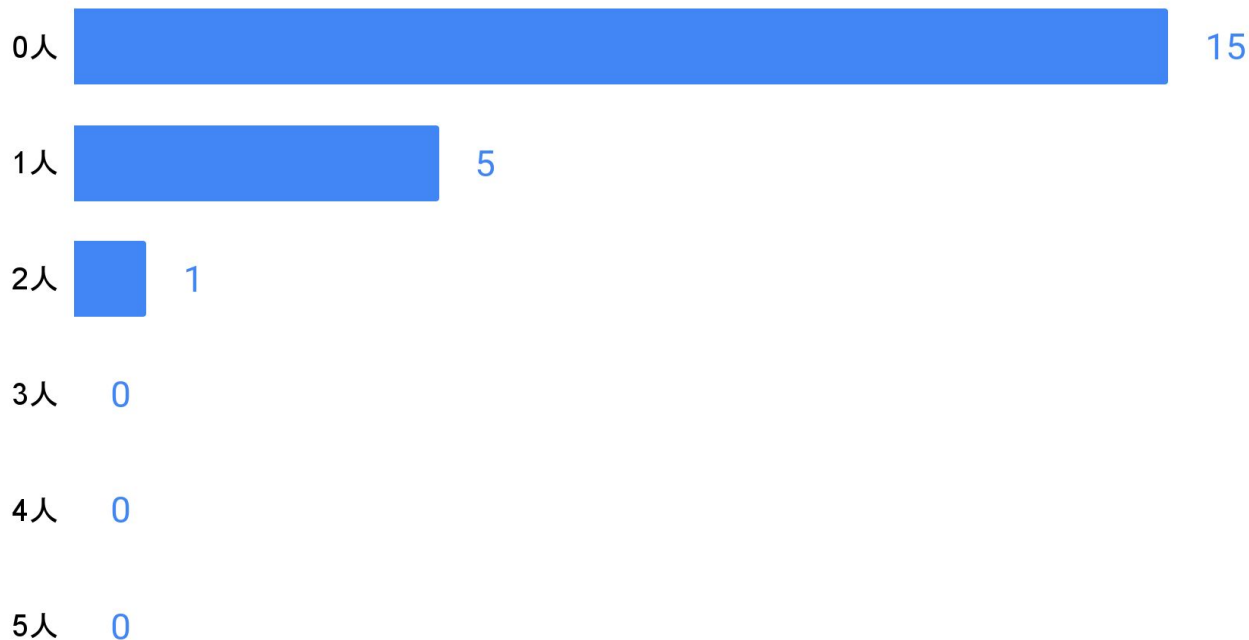
(n=21)



多くのチームは常勤アナリストは1人体制で配置している。

Q2. あなたのチームには、非常勤アナリストがいますか。

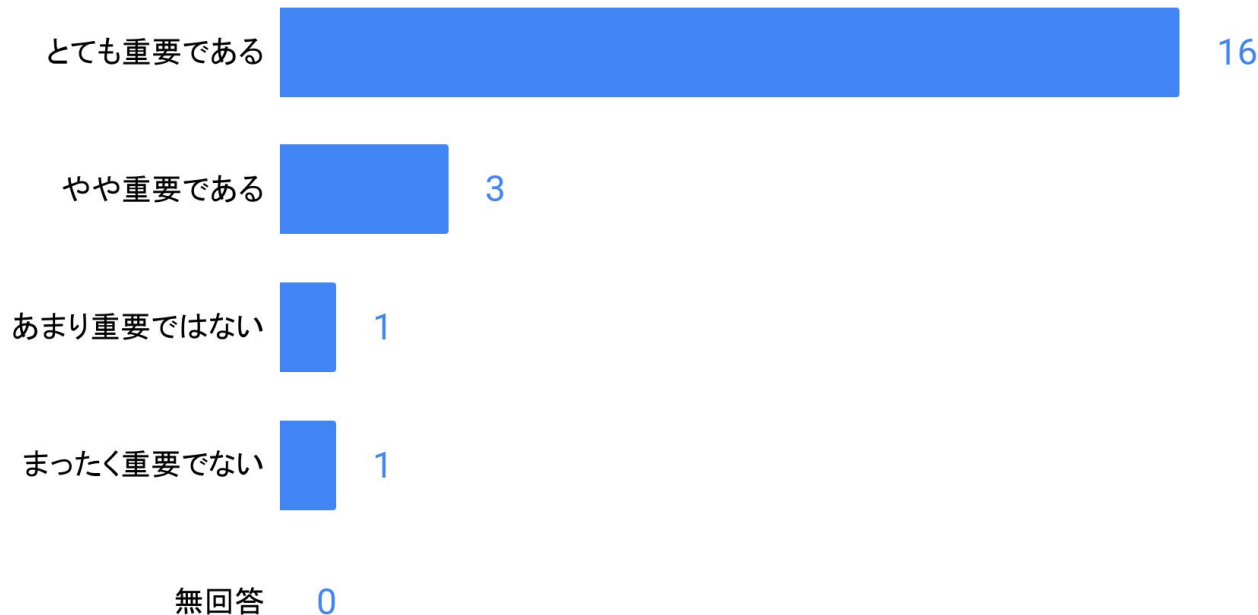
(n=21)



非常勤アナリストを雇用しているチームはあまり多くない。

Q3. アナリストはあなたのチームにとってどの程度重要とされていると感じますか。

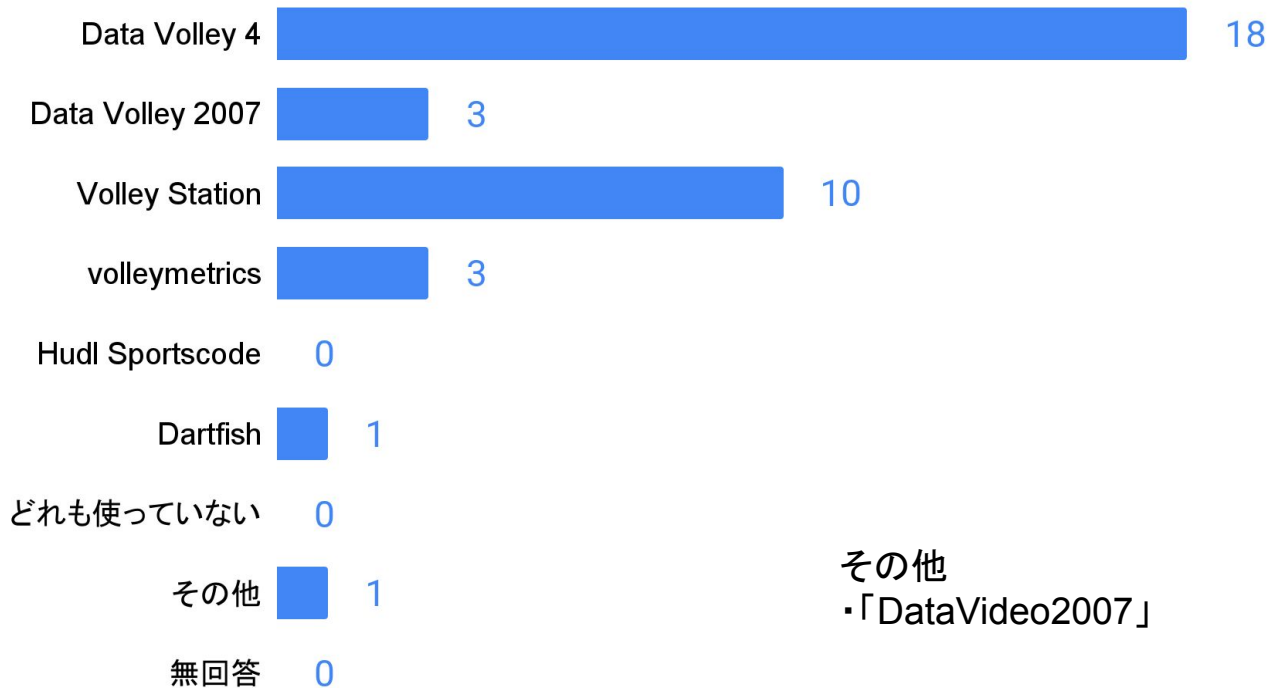
(n=21)



重要とされていると感じているアナリストが多いが、まったく重要でないとするチームが 1件(GM調査ではゼロ)

Q4. 所属チームにおいて、アナリストが使用しているソフトウェアを 下記から選んでください。

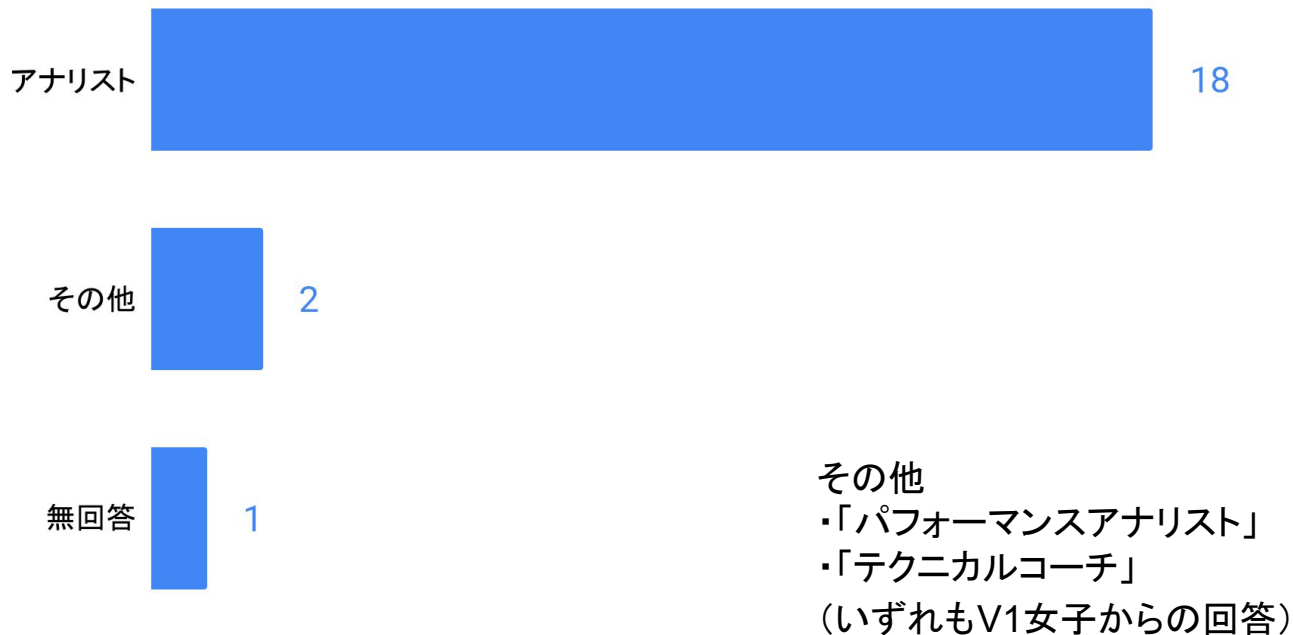
(n=36; 複数回答可 ※V1,V2,V3の全チーム対象)



DataVolley4が最多で主流、VolleyStationを用いるチームも一定数見られる。

Q5. あなたのチームのアナリスト相当のスタッフの肩書を教えてください。

(n=21)



肩書は大半が「アナリスト」で、他の肩書はごく少数にとどまる。

Q6. 公式戦を対象とした分析のうち、アナリストは下記の業務をどの程度行なっていますか。

(n=21)

	(試合前)試合映像撮影、試合映像収集	(試合前)データ入力、コード化	(試合前)対戦相手分析(スカウティング)	(試合前)分析のプレゼンテーション	(当該試合)映像撮影	(当該試合)データ入力、コード化	(当該試合)リアルタイム分析*試合中の分析	(試合後)データ入力・修正	(試合後)当該試合の分析	(試合後)分析のプレゼンテーション
毎回行なっている	21(100%)	21(100%)	19(90.5%)	13(61.9%)	21(100%)	21(100%)	17(81%)	20(95.2%)	17(81%)	9(42.9%)
よく行なっている	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	2(9.5%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	0(0%)	2(9.5%)	5(23.8%)
あまり行なっていない	0(0%)	0(0%)	0(0%)	2(9.5%)	0(0%)	0(0%)	2(9.5%)	0(0%)	1(4.8%)	2(9.5%)
全く行なっていない	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	4(19%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	1(4.8%)	1(4.8%)	5(23.8%)
無回答	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)

映像撮影やデータ入力、対戦相手分析、試合中のリアルタイム分析などは、9割以上のアナリストが毎回行う共通的业务といえるが、プレゼンテーションについては、全く行っていないアナリストも存在する

Q7. 公式戦を対象とした分析のうち、下記の業務は、あなたのチームにおいてどの程度アナリストの業務として適当だと感じますか。

(n=21)

	(試合前)試合映像撮影、試合映像収集	(試合前)データ入力、コード化	(試合前)対戦相手分析(スカウティング)	(試合前)分析のプレゼンテーション	(当該試合)映像撮影	(当該試合)データ入力、コード化	(当該試合)リアルタイム分析*試合中の分析	(試合後)データ入力・修正	(試合後)当該試合の分析	(試合後)分析のプレゼンテーション
アナリストの業務だと思う	17(81%)	17(81%)	16(76.2%)	10(47.6%)	16(76.2%)	18(85.7%)	17(81%)	16(76.2%)	16(76.2%)	8(38.1%)
どちらかといえばアナリストの業務であると思う	4(19%)	3(14.3%)	5(23.8%)	6(28.6%)	4(19%)	2(9.5%)	4(19%)	5(23.8%)	5(23.8%)	8(38.1%)
どちらかといえばアナリストの業務ではないと思う	0(0%)	1(4.8%)	0(0%)	2(9.5%)	1(4.8%)	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	2(9.5%)
アナリストの業務ではないと思う	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
無回答	0(0%)	0(0%)	0(0%)	3(14.3%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	3(14.3%)

試合に関する業務は概ね共通しているが、プレゼンテーションについてはアナリスト業務外と捉えるチームもある。

Q8. 公式戦の分析において、上記の内容以外に、アナリストが行っている業務内容でアナリストの業務として適当だと考えるものがあれば記入してください。

(n=2)

- 「対戦相手や自チームの試合映像の選手への配布
(1試合通しの映像もしくは選手個人のプレー集)」
- 「スカウティング資料の作成」

プレゼンテーション以外でも、映像の配布を情報提供業務として担っている。

Q9. シーズンを通じて、アナリストは下記の業務に対してどのような立場にありますか？

(n=21)

	(シーズン前) 当期強化方針 策定	(シーズン前) 目標、KPI設定	(シーズン後) シーズンレ ビュー、シーズ ンレポートなど の作成	練習試合・紅白 戦のデータ収 集、分析	フィジカルデー タの収集分析	コンディショ ニングデータの 収集分析	練習メニュー作 成	動作分析	選手査定・編 成
意思決定をする立場である	0(0%)	1(4.8%)	4(19%)	7(33.3%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
提案(介入)をする立場である	11(52.4%)	13(61.9%)	14(66.7%)	12(57.1%)	0(0%)	0(0%)	8(38.1%)	8(38.1%)	7(33.3%)
サポートを行う立場である	6(28.6%)	5(23.8%)	2(9.5%)	2(9.5%)	8(38.1%)	9(42.9%)	7(33.3%)	7(33.3%)	6(28.6%)
関与していない	4(19%)	2(9.5%)	1(4.8%)	0(0%)	13(61.9%)	12(57.1%)	6(28.6%)	6(28.6%)	8(38.1%)
いずれにもあてはまらない	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)

多くのアナリストがシーズン前後の方針策定やレビューに関与しているが、選手査定や編成については関与が分かれる。
フィジカル・コンディショニング領域は関与が限定的。

Q10. シーズンを通じて、下記の業務は、あなたのチームにおいて どの程度アナリストの業務として適当だと感じますか。

(n=21)

	(シーズン前) 当期強化方針策定	(シーズン前) 目標、KPI設定	(シーズン後) シーズンレビュー、シーズンレポートなどの作成	練習試合・紅白戦のデータ収集、分析	フィジカルデータの収集分析	コンディショニングデータの収集分析	練習メニュー作成	動作分析	球出しなどの練習サポーター	練習中の審判	選手査定・編成
アナリストの業務だと思う	5(23.8%)	6(28.6%)	13(61.9%)	15(71.4%)	0(0%)	0(0%)	2(9.5%)	3(14.3%)	1(4.8%)	0(0%)	2(9.5%)
どちらかといえばアナリストの業務であると思う	7(33.3%)	9(42.9%)	7(33.3%)	6(28.6%)	1(4.8%)	1(4.8%)	6(28.6%)	7(33.3%)	7(33.3%)	3(14.3%)	5(23.8%)
どちらかといえばアナリストの業務ではないと思う	7(33.3%)	4(19%)	0(0%)	0(0%)	9(42.9%)	9(42.9%)	10(47.6%)	9(42.9%)	9(42.9%)	8(38.1%)	9(42.9%)
アナリストの業務ではないと思う	1(4.8%)	1(4.8%)	1(4.8%)	0(0%)	11(52.4%)	11(52.4%)	2(9.5%)	1(4.8%)	2(9.5%)	9(42.9%)	4(19%)
無回答	1(4.8%)	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	1(4.8%)	2(9.5%)	1(4.8%)	1(4.8%)

データ収集・分析・レビュー資料作成は概ね業務と認識。フィジカル・コンディショニング領域や審判は業務外との認識が強い。

Q11. シーズンを通して、上記の内容以外に行っている業務内容で、アナリストの業務として適当だと考えるものがあれば記入してください。

(n=3)

- 「モチベーションビデオの作成」
- 「来シーズンの外国籍選手の映像を収集して、数字を出すことはアナリスト業務として適当だと思う。しかし、査定編成を行うわけではないので、あくまで意思決定の補助であると思う。」
- 「データ収集や分析作業で使用する機材の購入や管理」

戦術的な目的以外での映像活用や、事務的な管理業務も一部のアナリストは行っている。

Q12. 上記の内容以外に、アナリストチームとして行いたいと考えている業務があれば記入してください。

(n=3)

- 「必要であれば、選手のメンタルケア」
- 「アナリストの仕事内容を発信する。」
- 「ジュニアチームの育成 ※若いうちからデータが見れると良いと思います。」

一部のアナリストはデータリテラシーの育成や発信、メンタル面支援への関与にも興味を示している。

Q13. アナリストチーム全体として、下記の知識・スキルを所有していることはチームにとってどの程度重要だと感じますか。

(n=21)

	映像を撮影するスキル	競技知識 (ルール・歴史・用語)	戦略戦術に関する知識	統計解析に関する知識	バイオメカニクス(動作分析)の知識	IT機器(ハードウェア)、ソフトウェア全般に関する知識	ゲームパフォーマンス評価に関する知識(効果量、決定率など)	データバレーなどのソフトウェアのスキル	データバレーより高度な映像編集スキル	データバレーより高度な統計解析スキル	バイオメカニクス(動作分析)のスキル	プレゼンテーション資料作成スキル	プレゼンテーションを行うスキル	コミュニケーションスキル	アナリスト育成セミナーでの評価
とても重要である	14(66.7%)	12(57.1%)	19(90.5%)	17(81%)	6(28.6%)	15(71.4%)	18(85.7%)	17(81%)	8(38.1%)	11(52.4%)	6(28.6%)	16(76.2%)	15(71.4%)	17(81%)	4(19%)
やや重要である	6(28.6%)	8(38.1%)	2(9.5%)	4(19%)	10(47.6%)	5(23.8%)	3(14.3%)	4(19%)	8(38.1%)	9(42.9%)	7(33.3%)	5(23.8%)	6(28.6%)	4(19%)	6(28.6%)
あまり重要でない	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	4(19%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	3(14.3%)	0(0%)	6(28.6%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	5(23.8%)
まったく重要でない	0(0%)	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	5(23.8%)
無回答	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	1(4.8%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)	1(4.8%)	2(9.5%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	1(4.8%)

競技、戦術、ITなどに関する知識の他、映像撮影、統計、分析・評価、情報提供、コミュニケーションなどのスキルが重要だと捉えている。一方で、バイオメカニクスの重要性はそれらに比べると低く、JVAアナリスト育成セミナーでの評価は約半数が重要でないと認識。

Q14. 上記の内容以外に、アナリストの知識、スキルとして重要だと感じるものがあれば記入してください。

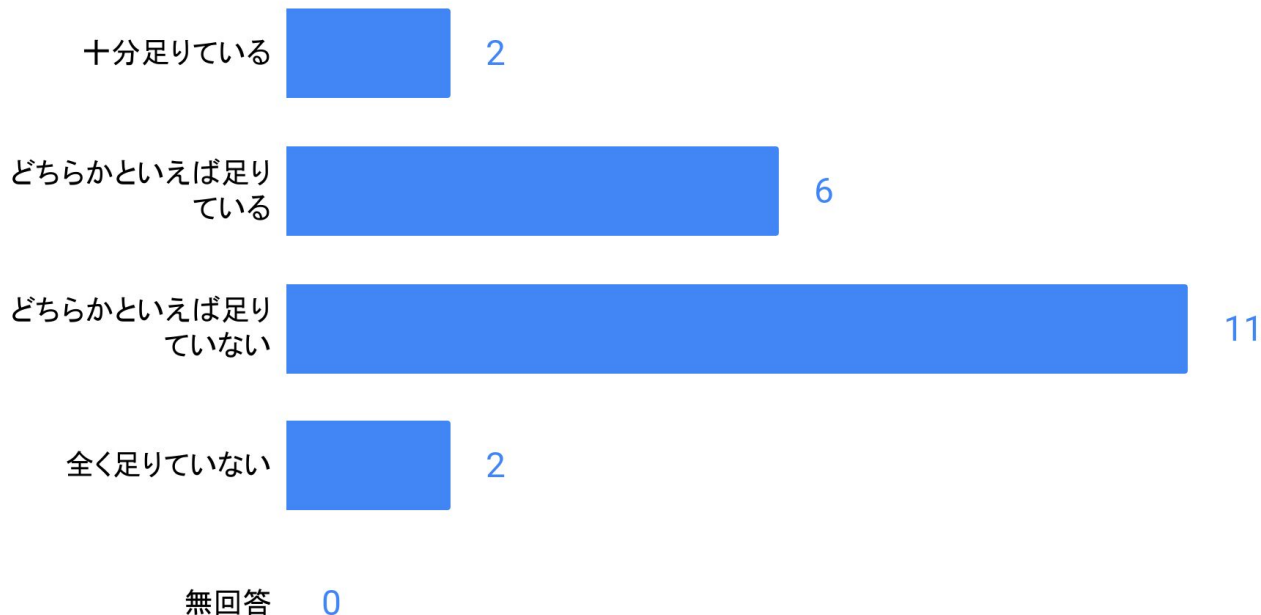
(n=4)

- 「言語化能力」
- 「チームメンバーとの良好な人間関係を築く能力。」
- 「他競技の戦術戦略の分析方法などを知ることも重要なスキルであると考え
る。」
- 「他競技の分析方法や練習方法などの知識」

言語化力や対人関係力、他競技で行なわれている分析などの方法論の重要性が示されている。

Q15. 所属チーム内でのアナリストの業務量と比較して、アナリストの人数は足りていると思いますか。

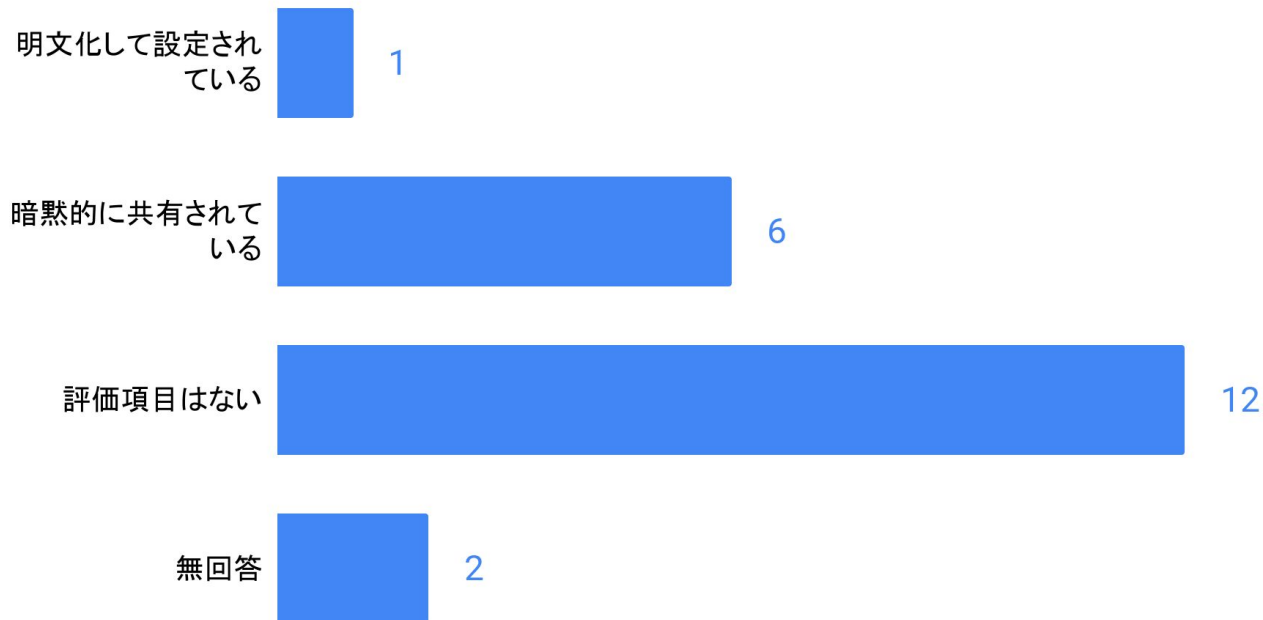
(n=21)



6割以上のチームにおいて、業務量に対しアナリストに人数が不足していると認識。

Q16. あなたのチームにおいて、アナリストに対する評価項目は設定されていますか。

(n=21)



アナリストの評価基準を未整備なチームが多く、明文化されているのは 1チームのみ。

Q18. 評価項目における評価基準は設定されていますか。

(n=1)

明文化して設定されている 0

暗黙的に共有されている



1

評価基準はない 0

無回答 0

評価項目は明文化して定められていても、評価基準は明文化されていない

Q17. 具体的にどのような評価項目があるか教えてください。

(n=1)

- 「選手との信頼関係」

評価項目といっても知識やスキルではなく、信頼関係という対人関係能力が用いられている

Q19. アナリストの評価について、次の内容はどの程度重視されていると感じますか。

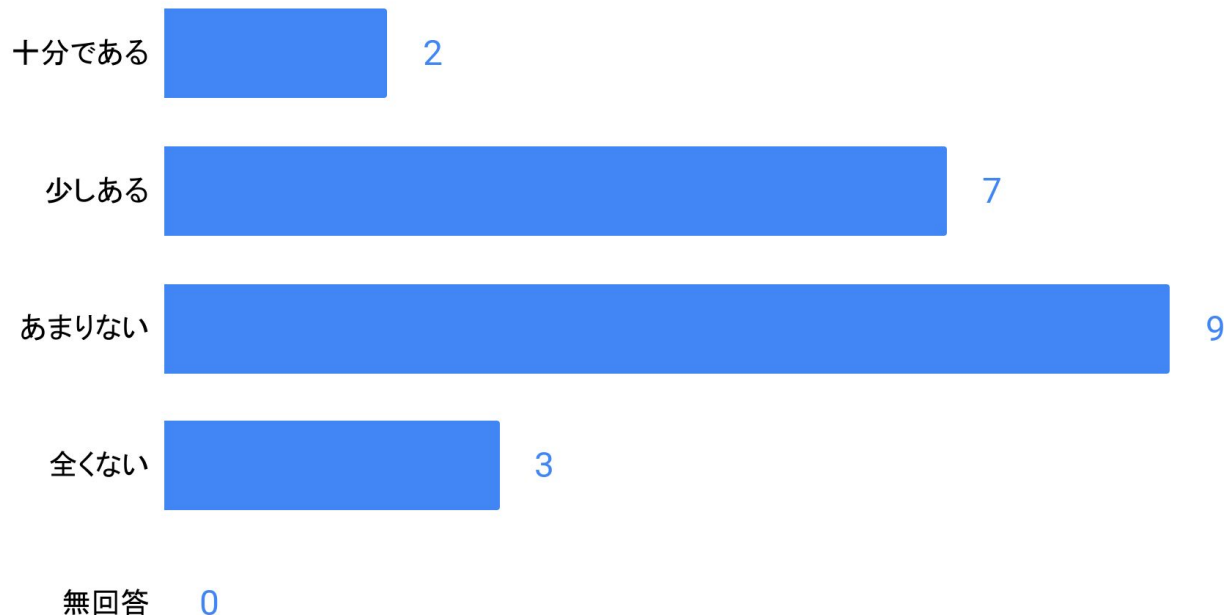
(n=21)

	チームの戦績	チームへの貢献度	分析スタッフとしてのスキルの発揮度	チームワーク(他のスタッフとの協調性)	取り組み姿勢
とても重視されている	6(28.6%)	6(28.6%)	8(38.1%)	7(33.3%)	10(47.6%)
どちらかといえば重視されている	10(47.6%)	9(42.9%)	5(23.8%)	8(38.1%)	8(38.1%)
どちらかといえば重視されていない	2(9.5%)	2(9.5%)	4(19%)	2(9.5%)	1(4.8%)
まったく重視されていない	1(4.8%)	1(4.8%)	1(4.8%)	1(4.8%)	0(0%)
無回答	2(9.5%)	3(14.3%)	3(14.3%)	3(14.3%)	2(9.5%)

回答者の9割以上が、取り組み姿勢が重視されていると感じている一方で、分析スタッフとしてのスキル発揮は他の評価項目に比べて重視されていないと感じる割合がやや高い。

Q20. アナリストの人材育成・環境整備に関してチームから十分な機会が 与えられていますか？

(n=21)



人材育成や環境整備についてチームから与えられている機会は不十分と感じる回答が多数を占める。

Q21. 具体的にどのようなアナリストの人材育成に関する機会や環境の整備を望みますか？

(n=11)

- 「視察の機会を頂きたい。様々な分野や他チームや他協議の人と関わる機会を頂きたい。」
- 「他競技との交流会」
- 「上記にあげていただいているような内容」
- 「アナリスト以外の選手やスタッフがアナリストセミナーなどに参加すること。アナリストに対する印象や評価を少しでも変えていくべきだ。」
- 「海外チームの視察の機会や海外チームを日本に受け入れた際の視察、他競技のアナリストやコーチとの交流会の機会など。」
- 「海外研修・視察機会、学生や他カテゴリー・他競技との交流機会」
- 「海外研修や海外チームとの交流、他競技のアナリストたちと意見交換をする機会、大学生や高校生など次世代のアナリストたちと交流する機会、バレーボールアナリストという存在の確立(免許なのか資格なのか検定なのか、アナリストと証明できるもの)」
- 「アナリスト資格の整備」
- 「ソフトの使い方や、最新の映像編集や分析の情報が知りたいです。」
- 「海外チームへのインターン、代表活動への参画」
- 「海外クラブとの交流機会等」

海外・他競技との交流や研修、資格整備など成長機会の充実が求められている。

バレーボールのアナリストの実態調査(全体)



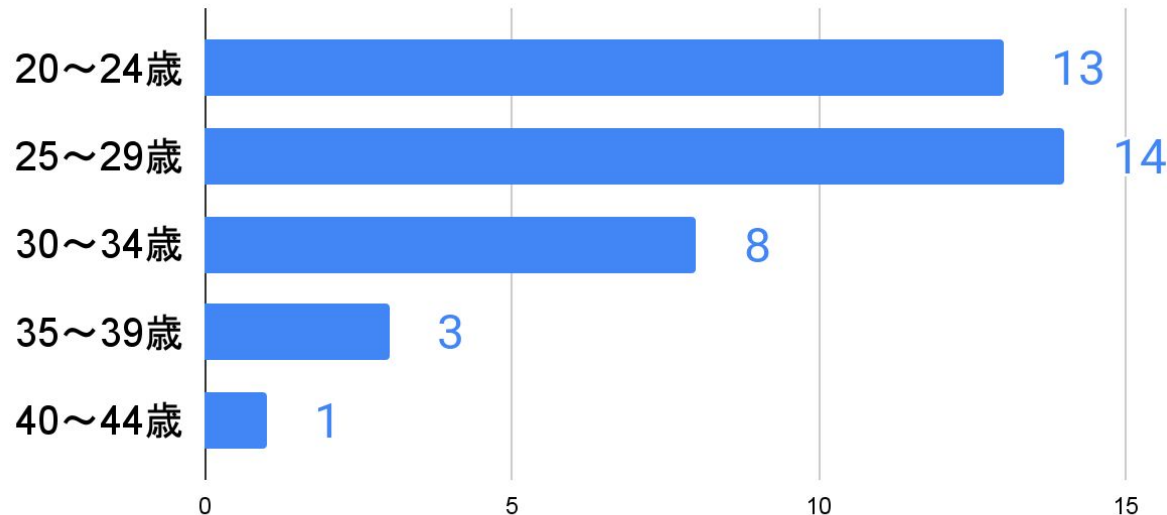
単純集計結果

一般社団法人日本スポーツアナリスト協会
調査・研究委員会

2025年12月

Q1.あなたの年齢を教えてください(回答時点)

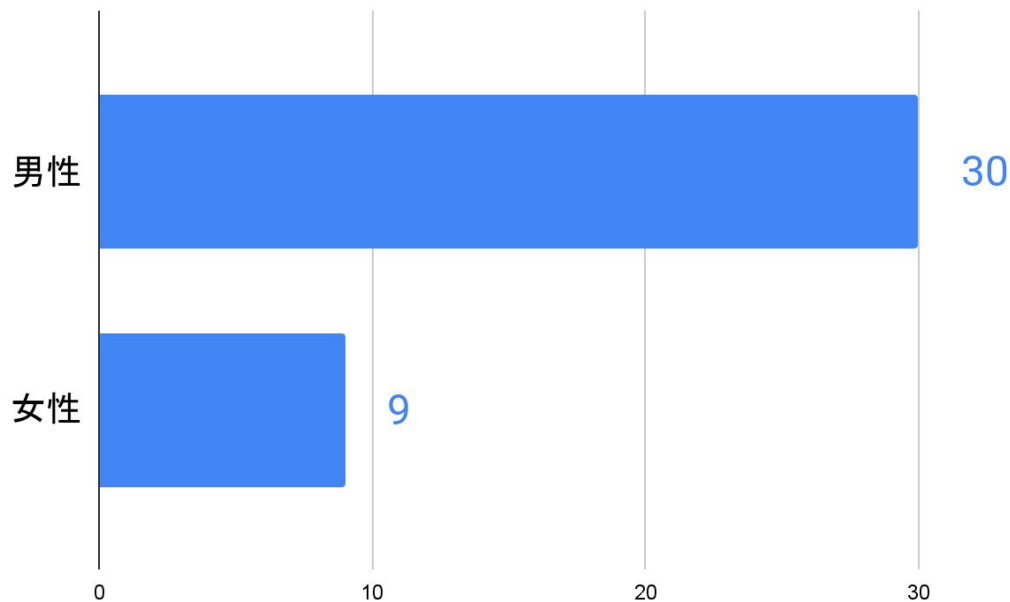
(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



20代が大半を占め、若手アナリストが中心となっている。

Q2.あなたの性別を教えてください。

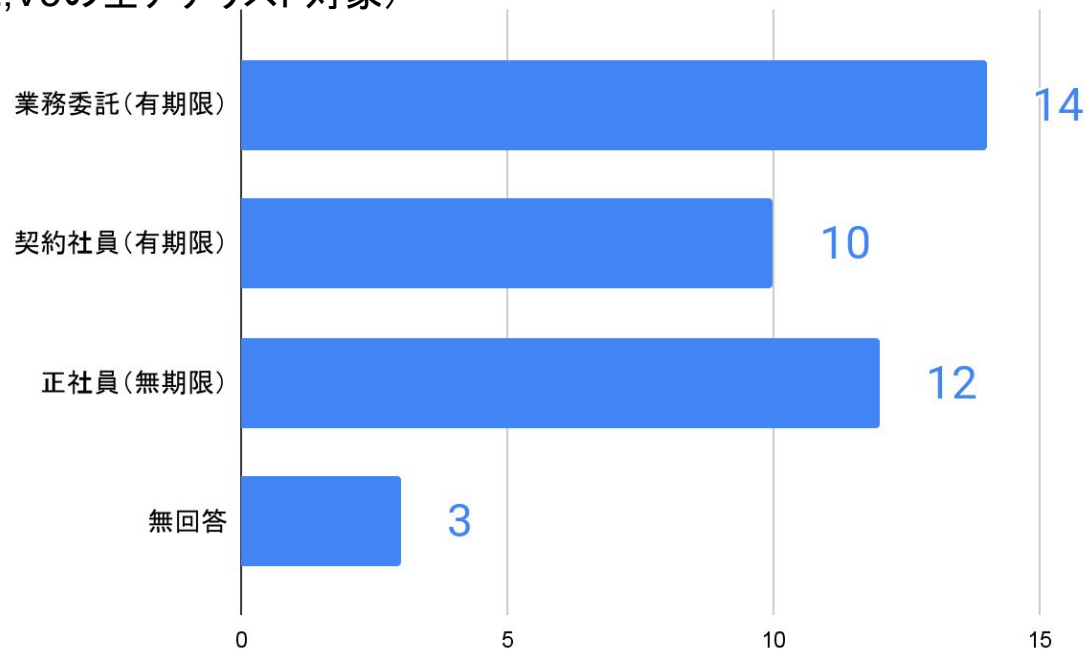
(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



男性が8割弱を占め、女性アナリストは少数にとどまる。

Q3.あなたの雇用形態を教えてください。

(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



有期契約が多く、アナリストの雇用の安定性には、ばらつきが見られる。

Q4.あなたのチームにおける肩書、呼称を教えてください。

(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)

「アナリスト」が 28件 (71.8%)

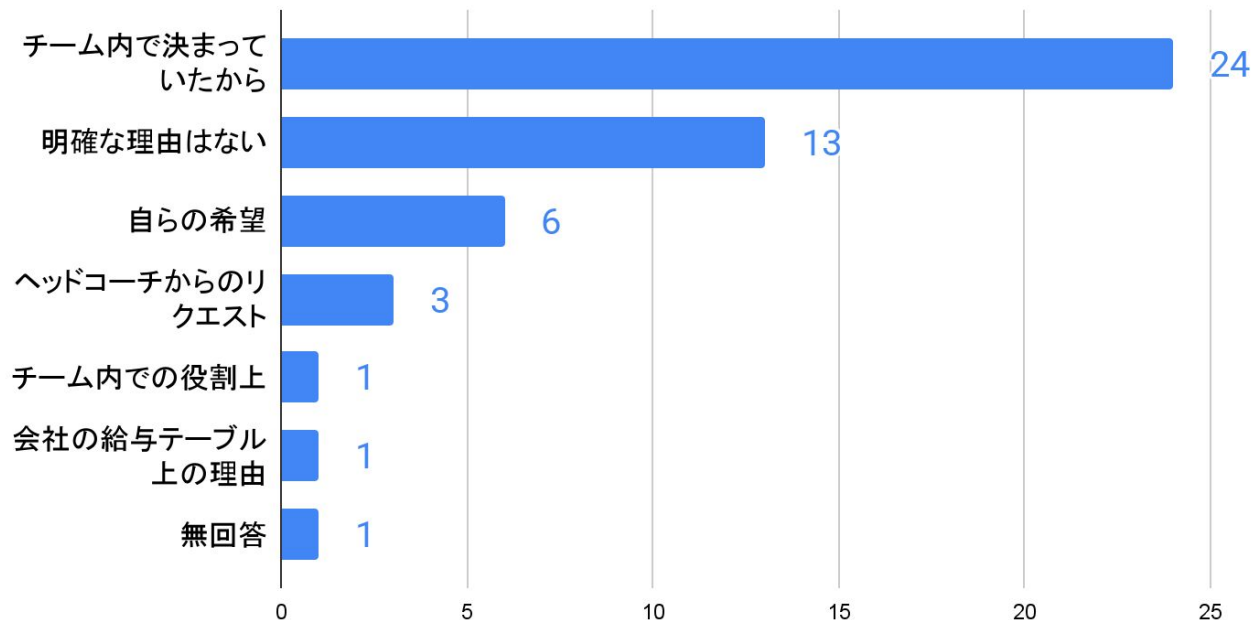
以下「アナリスト」と完全一致しない回答

- アナリスト、アシスタントコーチ
- アナリスト兼コーチ (同回答3件)
- コーチ兼アナリスト
- アナリスト兼選手
- アナリスト兼通訳
- コーチ
- テクニカルコーチ
- パフォーマンスアナリスト
- スタッフ

「アナリスト」が主流だが、2割程度はコーチを中心に他役職との兼務による呼称も存在する。

Q5.その肩書、呼称が使われている理由を教えてください（複数回答可）。

(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



肩書は慣習的に決まり、明確な根拠を伴わない場合が多い。

Q6.肩書き、呼称を変えたいと思いますか。変えたいと思う場合、希望する肩書きを教えてください。

(n=5)

スカウトマン

スコアラー

コーダー、ビデオコーディネーター

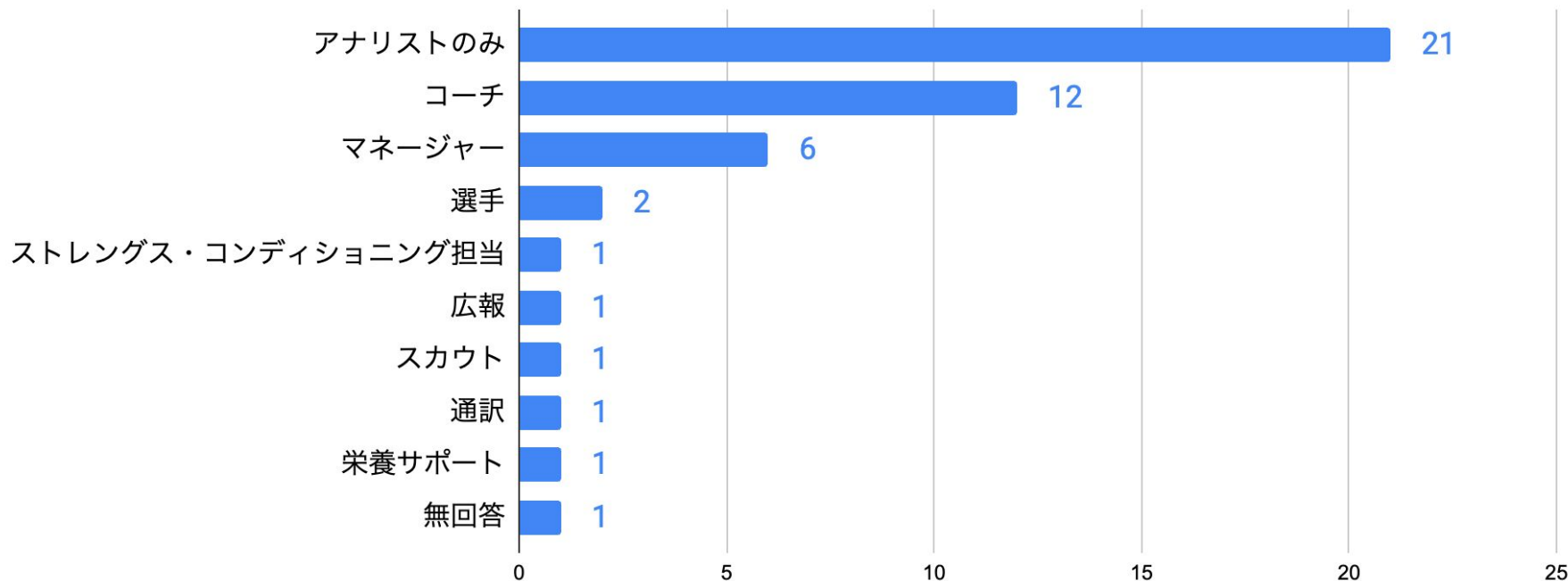
パフォーマンスアナリスト

特になし

より具体的に役割を示す呼称への変更を望む声の一部が見られる。

Q7.あなたが、アナリスト以外に兼務する役職(アナリスト兼～～)を教えてください (複数回答可)。

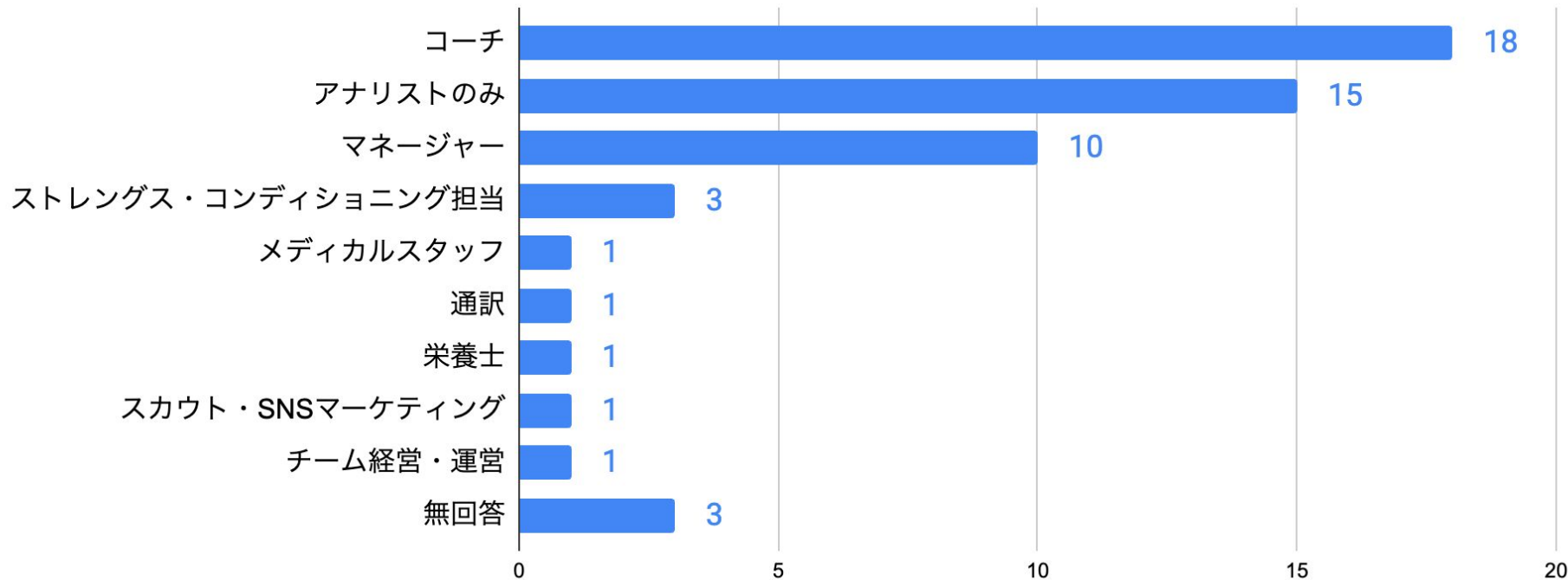
(n=39; 複数回答可 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



6割弱がアナリスト専任で、コーチ・マネージャーとの兼務でアナリストの役割を担うケースも多い。

Q8.あなたが、アナリスト以外に(役職として兼務しているわけではないが)担っていると感じる業務を教えてください(複数回答可)。

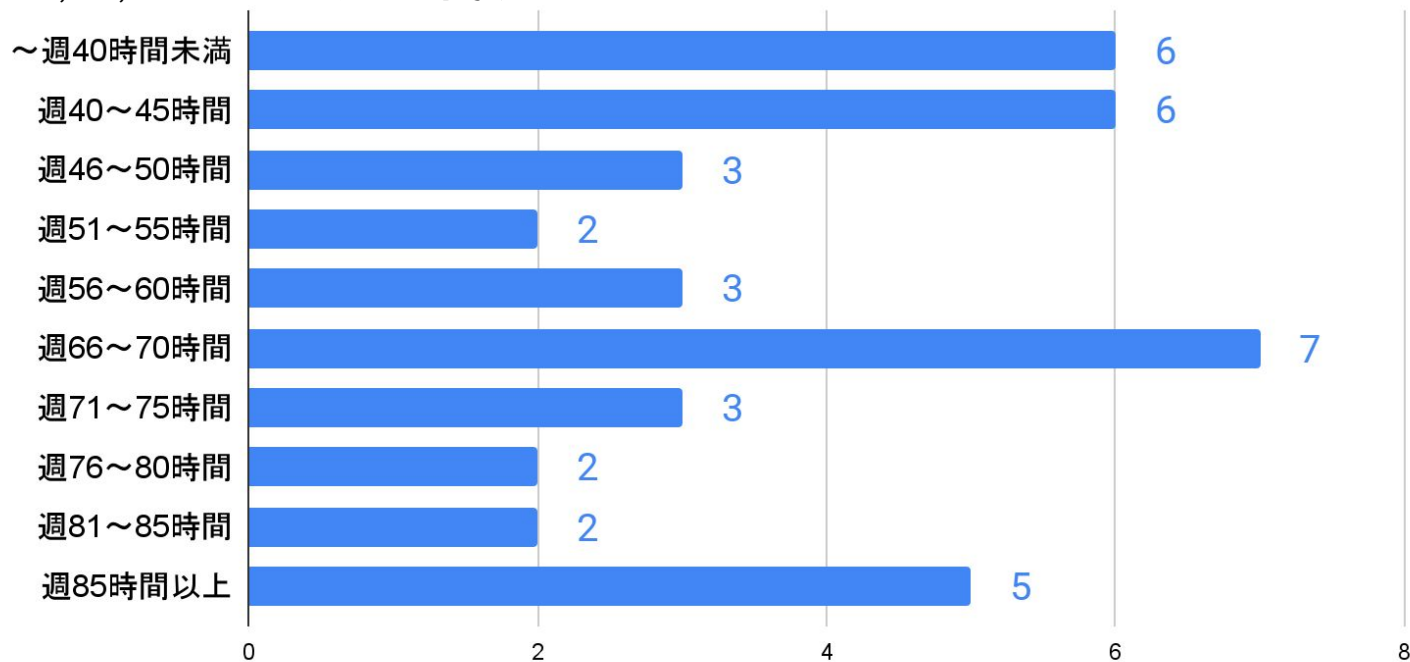
(n=39; 複数回答可 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



実務上でのアナリスト専任は 40%強であり、実態として指導や運営などアナリスト業以外の業務も担っている。

Q9.シーズン中、アナリストとしての一般的な一週間の業務時間はどれくらいでしょうか？

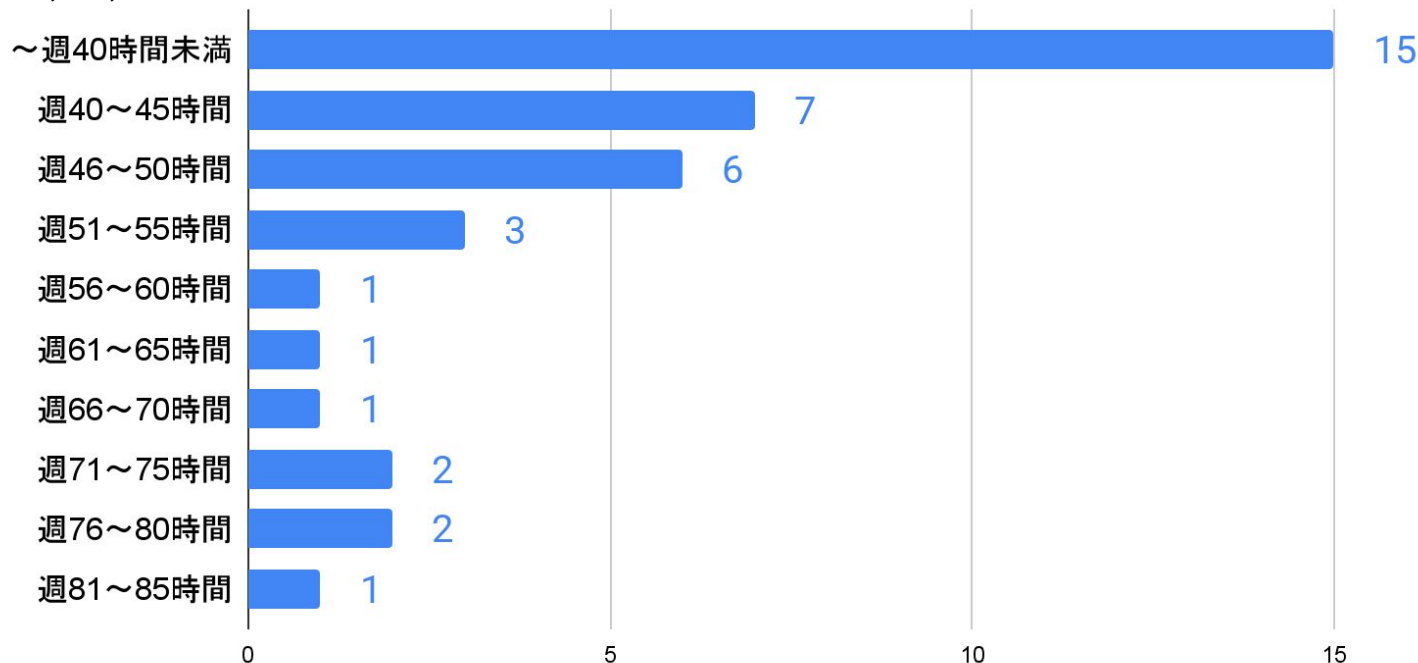
(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



週40時間未満から 80時間超まで幅広く分布し、60時間以上の長時間業務にあたるアナリストも多い。

Q10.シーズンオフ中、アナリストとしての一般的な一週間の業務時間はどれくらいでしょうか？

(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)

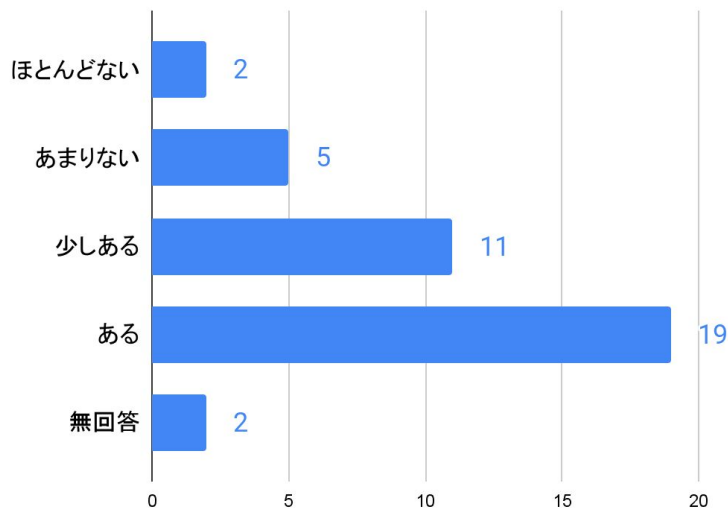


シーズンオフは全体的に業務時間が減少傾向にあるが、 20%弱は週 60時間以上の長時間業務を行っている。

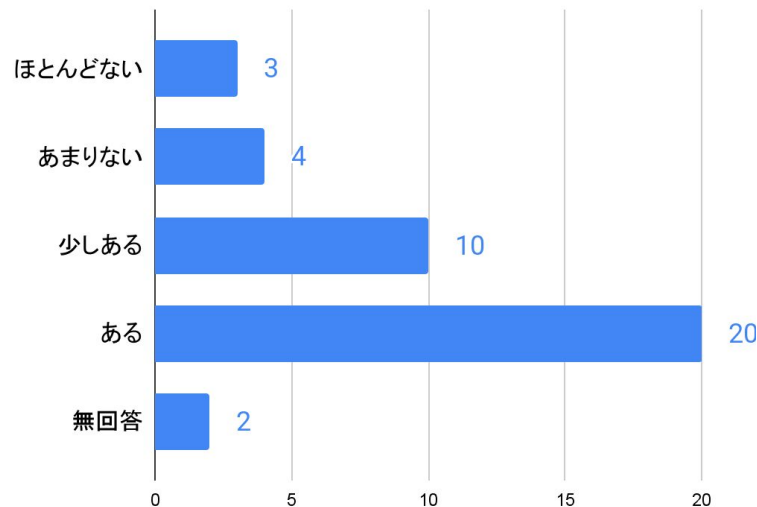
Q11.アナリストの業務を行うに当たり業務内容・業務に費やす時間についてご自身の裁量はそれぞれの程度あると感じていますか？

(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)

業務内容の裁量



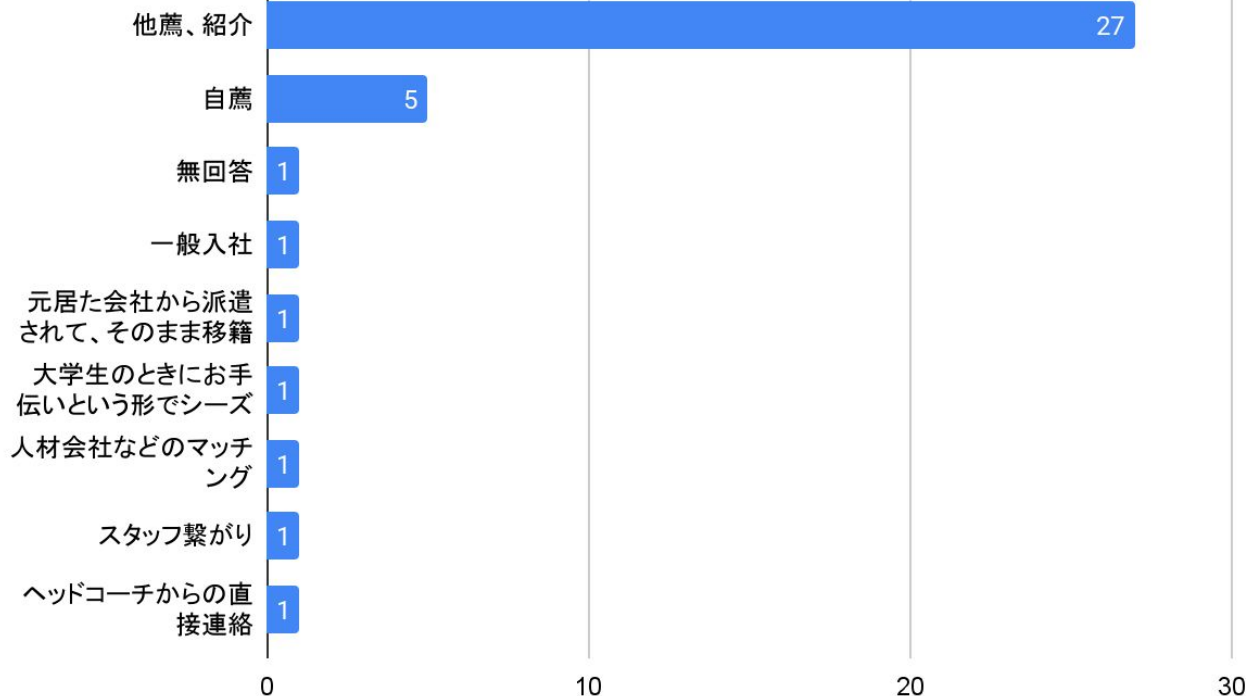
業務時間の裁量



業務内容・業務時間ともに「裁量がある」と感じる回答が多数を占める一方、一定の制約を感じる層も存在する。

Q12.どのように現在の所属チームに加入しましたか。

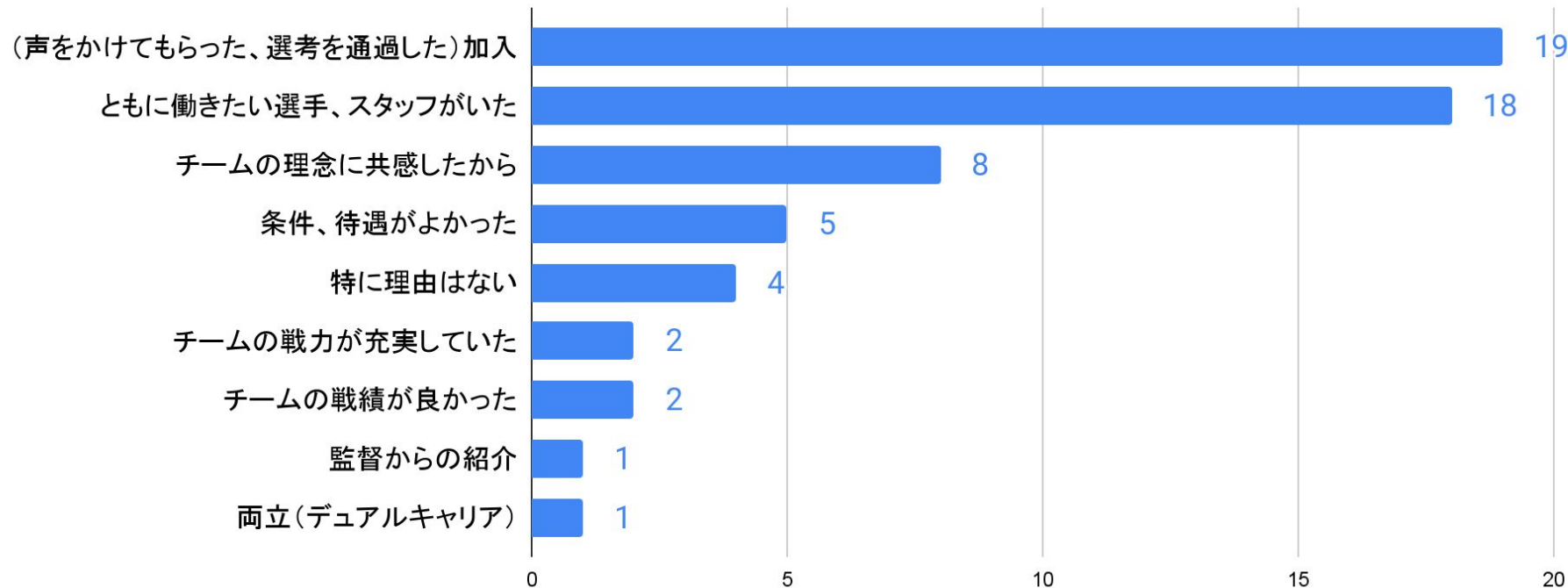
(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



紹介・縁による加入が圧倒的に多く、採用は非公募・属人的な傾向が強い。

Q13.どのような理由で、現在の所属チームを選びましたか(複数回答可)。

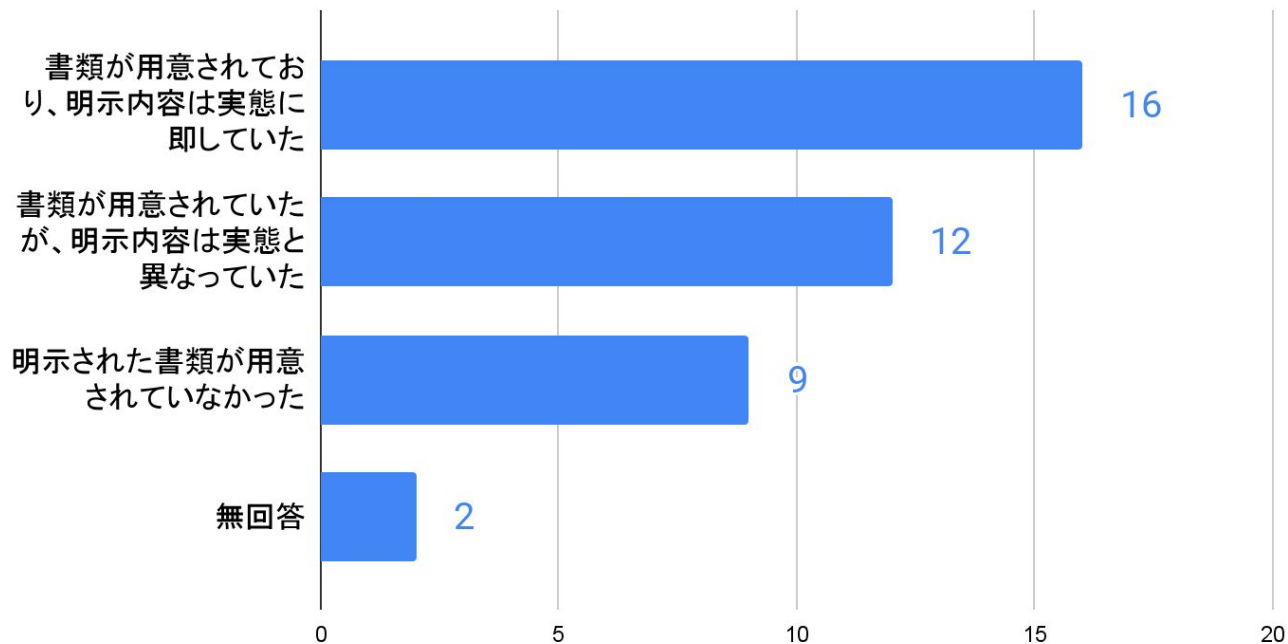
(n=39; 複数回答可 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



人や縁を重視した選択が中心で、条件面より関係性が決め手となっている傾向が強い。

Q14.現在のチームへの加入にあたり、業務内容を明示した書面(職務記述書や業務委託契約書の委託内容欄など)が用意されていましたか。また、その内容は現在の業務内容に即していましたか。

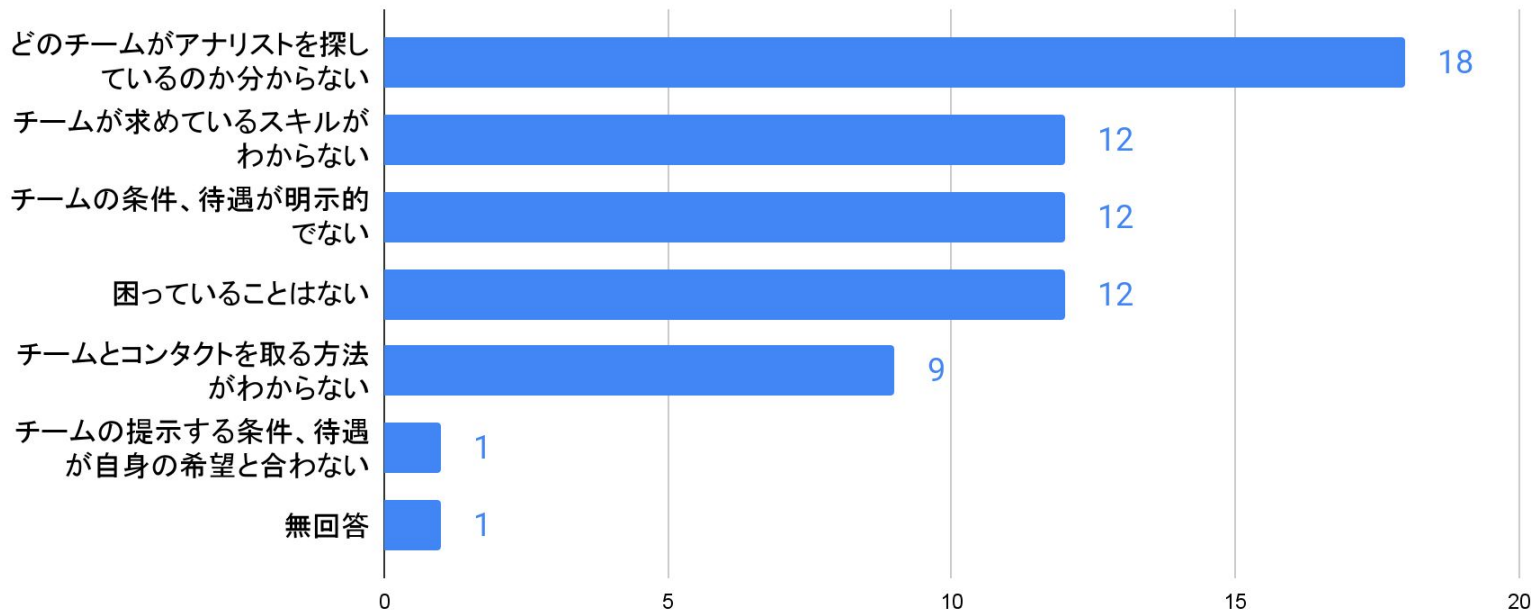
(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



業務内容の明文化は一定数行われているものの、実態と乖離・未整備のケースの方が多い。

Q15.所属チームを探す上で、困っていた、または現在困っていることはありますか。（複数回答可）

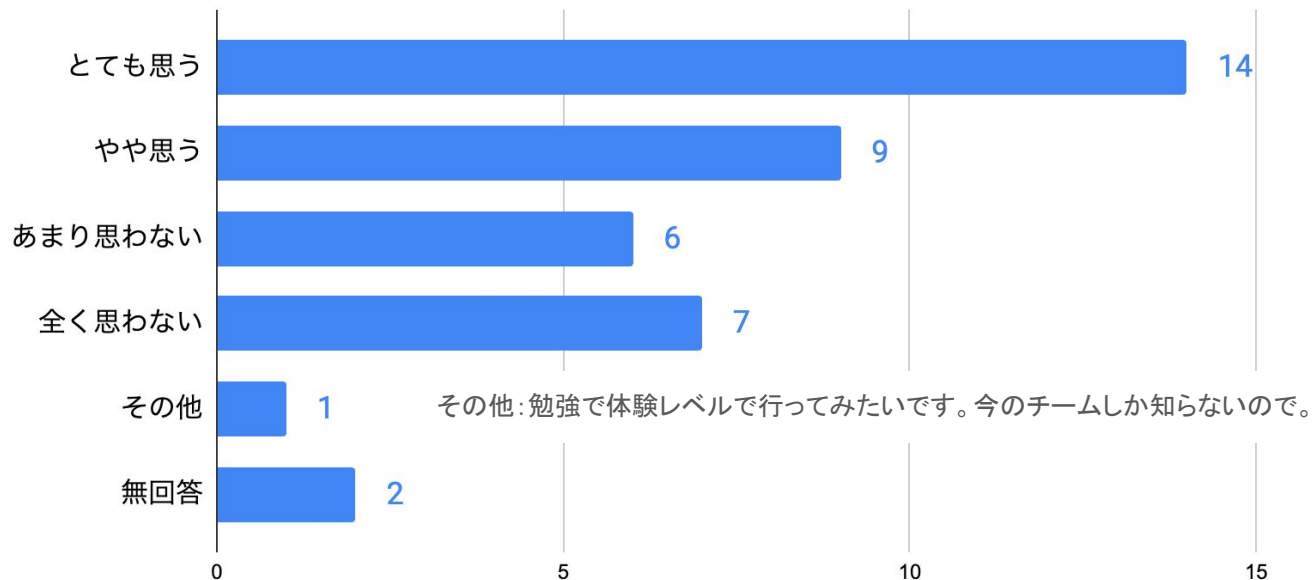
(n=39; 複数回答可 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



募集状況や求めるスキル・条件が見えにくく、情報不足に悩む声が多い。

Q16.チャンスがあれば、他のチームへアナリストとして移籍したいと考えますか。

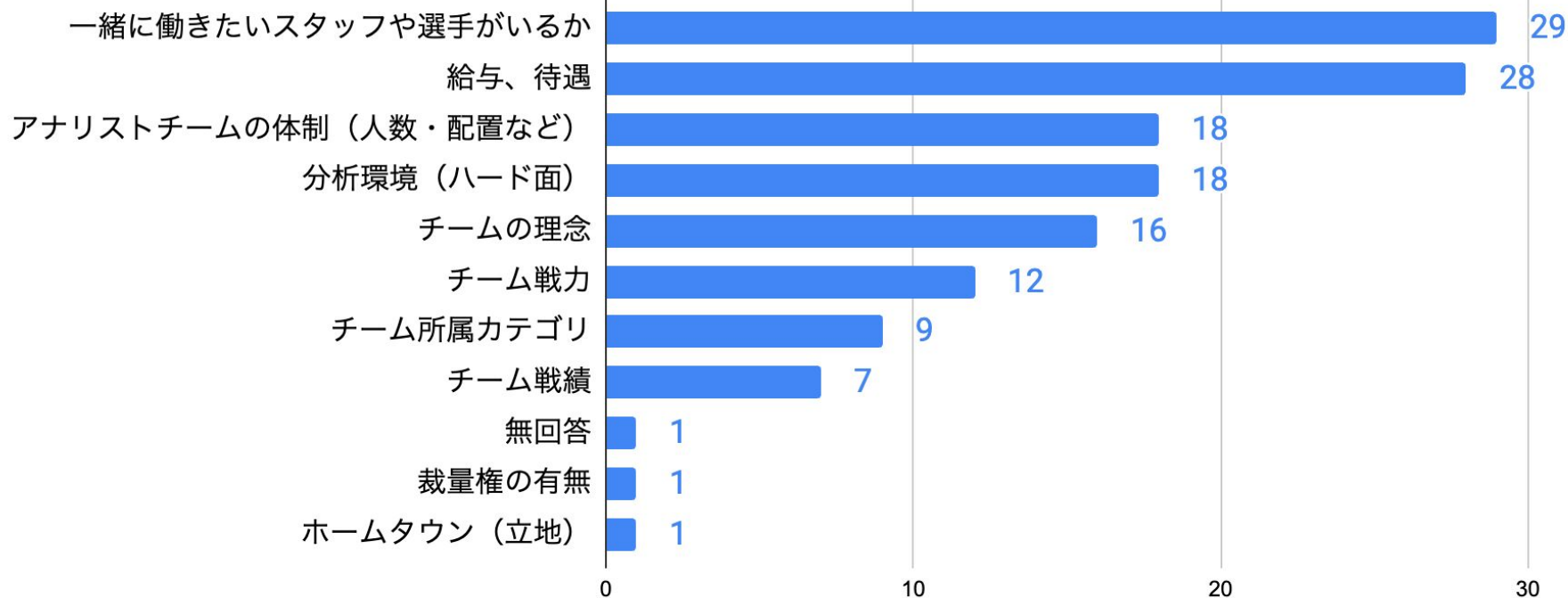
(n=39 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



移籍意向は前向き層の方が消極層を上回り、一定の流動性が示唆される。

Q17.他のチームへの移籍を考える上で重要と考える条件、要素を選んでください。 (複数選択可)

(n=39; 複数回答可 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



移籍判断では人間関係と待遇が最重視され、体制や分析環境も重要視されている。

Q18.現在のチームにおいて、理想とするアナリストチームの構成を教えてください。(自由記述)

- データ収集担当アナリスト無制限、データ分析や伝達担当アナリスト 2名
- アナリスト5名体制
 - データ入力担当2人と分析特化3人
- アナリスト3名体制
 - 3名 チーフアナリスト1名、アシスタントアナリスト2名
 - 常勤アナリスト3名
 - 常勤アナリスト3名 2名はコーチや通訳など現場の兼任のタイプ
 - 常勤アナリスト3名で年齢層は幅広く。(3名の年代が少しずつ離れていること)トップにチーフアナリストがいて、その下に2名のアナリストがいる形が望ましい。
 - 常勤2人、非常勤1人
 - 常勤2名非常勤1名
 - 常勤アナリスト2名 非常勤アナリスト1名
 - 常勤アナリスト2名(コーチ兼任・アナリスト専任) / 非常勤アナリスト1名(専任のアシスタント:学生でも可・育成目的込み)
 - 常勤アナリスト2名(チーフ・分析専門)、非常勤アナリスト 1名(入力専門)

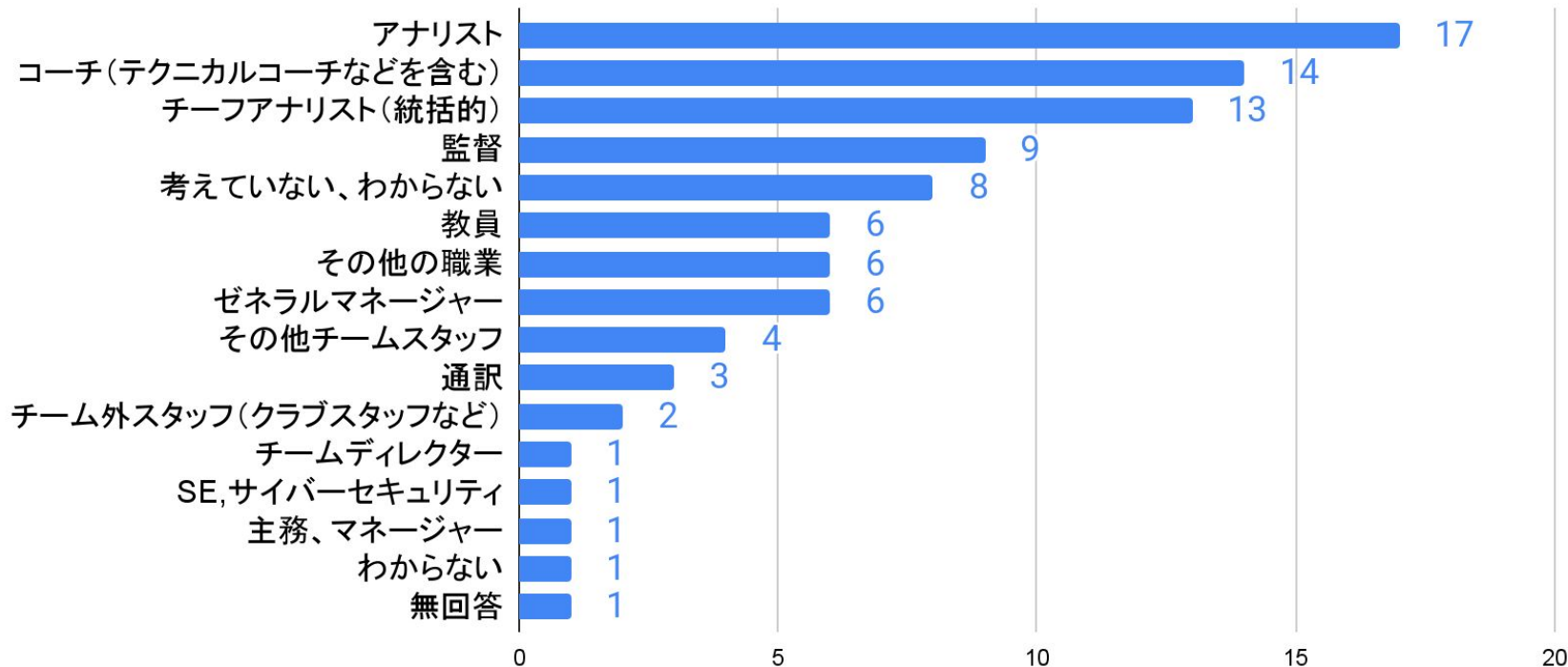
Q18.現在のチームにおいて、理想とするアナリストチームの構成を教えてください。(自由記述)

- アナリスト2名体制
 - 常勤アナリスト2名(同じ回答が5件)
 - チーム担当アナリスト1名 前乗りアナリスト1名
 - データ入力、修正担当アナリスト1名 分析担当1名
 - 対戦チーム分析担当アナリスト1名 自チーム分析担当アナリスト1名
 - 最低2人
 - 常勤アナリスト2名か、常勤アナリスト1名・非常勤アナリスト1名の計2名
 - 常勤1名、非常勤1名、※分析ソフト支給
 - 常勤1名＋非常勤1名 or アナリスト経験のあるコーチ1名＋常勤1名
 - 常勤アナリスト1名 非常勤アナリスト1名
 - チームの役割分担にもよりますが特になし(シーズン中は2名いると対応しやすい)
- アナリスト1名体制
 - 常勤アナリスト1名
 - 常勤アナリスト1名のみ
 - 常任アナリスト1名に伴い、データを使えるコーチ
- その他
 - 契約で所属したい / 特になし(6件) / なし / 無回答(3件)

全体の65%は2人以上の複数人体制で、役割分担と育成を意識した構成を理想としている。

Q19.将来的にどのような役職、職業に就きたいと考えていますか。 (複数選択可)

(n=39; 複数回答可 ※V1,V2,V3の全アナリスト対象)



将来像はアナリスト継続を軸に、統括的役割や指導者を見据えている傾向が見られる。

EOF

